関西大学北陽高等学校・北陽中学校
2021 年度学校評価報告書

2022 年３月

目 次

1　本校の概要　・・・・・・・・・・・・・・1
（1）　沿革
（2）　建学の精神、教育目標

2　今年度の重点目標における取組計画・内容、自己評価及び今後の改善方策　・・・2
重点目標①　・・・・・・・・・・・・・・2
・取組計画及び評価指標
・自己評価
重点目標②　・・・・・・・・・・・・・・3
・取組計画及び評価指標
・自己評価
重点目標③　・・・・・・・・・・・・・・4
・取組計画及び評価指標
・自己評価
重点目標④　・・・・・・・・・・・・・・5
・取組計画及び評価指標
・自己評価

3　アンケートの実施状況について　・・・・・・・・・・・・・・6

4　アンケート結果の分析　・・・・・・・・・・・・・・7
・中高教員対象（組織・個人）学校評価
・高校（保護者対象・生徒対象）学校評価
・中学校（保護者対象・生徒対象）学校評価

5　学校関係者評価委員会からの評価結果　・・・・・・・・・・・・・・11
（1）自己評価の結果を受けて
（2）アンケート結果について
関西大学学長補佐　人間健康学部　教授　岡田忠克

6　校長の意見書　・・・・・・・・・・・・・・14

7　アンケート結果　・・・・・・・・・・・・・・15

2021 年度　関西大学北陽高等学校・北陽中学校　学校評価報告書

関西大学北陽高等学校・中学校

自己点検・評価委員会

1　本校の概要

（１）　沿革

①　1922 年６月５日に、関西法律学校という専門学校から旧制大学へと昇格をし、関西大学が誕生する。大学昇格の立役者となったのは、当時の財界の大御所といわれた山岡順太郎氏（後の総理事、学長）である。順太郎氏は「知識をいくら集積しても力にはならない、断片的な知識をつなぎ合って活性化させ、社会に応用できて初めて力になる」という「学の実化（じっけ）（学理と実際の調和）」を提唱した。この考え方は、関西大学の学是であり、教育理念として現在も生きている。

②　それから３年後の 1925 年、関大北陽の母体となった北陽商業学校が設立される。設立者は山岡倭（やまと）氏であり、順太郎氏の長男である。初代校長の糸島實太郎氏は関西大学出身で北陽を設立するに当たって、順太郎・倭父子の献身的な援助を受けることになる。

③　1944 年に国の戦時非常措置令により工業学校への転換を余儀なくされたため、糸島校長は福武工学校との統合によって北陽の存続を図り、時局の要請に応えようとした。福武平十郎氏（北陽の初代理事長）は糸島校長の「北陽の法灯だけは絶やさないでほしい」という願いを聞き入れ、北陽工業学校と改称。終戦後、工業は商業に復帰し、さらに学制改革により北陽高等学校と改称した。

④　2008 年、学校法人関西大学と学校法人福武学園が合併。関西大学北陽高等学校と改称。2010 年には関西大学経営審議会のすすめもあり、北陽中学校を開設。2022 年の４月には関西大学北陽高等学校第 15 期生、関西大学北陽中学校第 13 期生の入学式が行われる。

（２）　建学の精神、教育目標

「知徳体の調和のとれた人間の育成」を建学の精神とし、生徒の個性や能力を最大限に伸ばし、「自ら考え判断し、責任を持つ」ことを教育目標としている。この目標を実現するため、本校では「知育」「徳育」「体育」を次のような観点で捉えている。

①　知育

基礎学力の充実を図り、自ら考える習慣を培い、自己の生き方を模索する知性と科学的なものの考え方を養う。

②　徳育

生活規範と社会のルールを遵守する大切さを学び、あらゆる学校生活や行事を通して自己の品性を高め、他者とともに生きるために必要な高い徳性を養う。

③　体育

健康な身体と健全な精神を養うことを通じて、正しい状況判断と積極的かつ適切な行動ができるよう、体力・気力・判断力を育てる。

2　今年度の重点目標における取組計画・内容、自己評価及び今後の改善方策

（１）　重点目標①：基礎的・基本的な「確かな学力」を修得し、進路実現を果たす。

達成状況の目安：(◎)大幅達成・(○)達成・(△)未達成・(×)大幅未達成

<table>
<tr><th>取組計画及び評価指標(Plan)</th><th>自己評価</th></tr>
<tr><td rowspan="3">ア　スローラーナーに対し、高等教育に必要な学力を身に付けさせるために学力の向上を図る。

【評価指標】
・「学力向上」項目で保護者対象アンケート肯定率 75%、生徒対象アンケート肯定率 80%以上
・「スローラーナーへの対応」項目で保護者対象アンケート肯定率 70%、生徒対象アンケート肯定率 75%以上</td><td>【取組状況(Do)】
学力向上に向けて、ICT の活用、コロナ禍でのオンライン授業の充実を図った。スローラーナーには、小テストや課題テストで学力チェックを行い、補習や個別指導を実施した。中学校では、スローラーナーだけではなく、学力上位層への補習も行い、効果を上げている。また、クラウド型学習システム、e ラーニングの定着もみられる。</td></tr>
<tr><td>【達成状況(Check)】（◎or○or△or×）
＜学力向上＞
・（高校）保護者対象：76%（○）　生徒対象：83%（○）
・（中学校）保護者対象：85%（◎）生徒対象：89%（○）
＜スローラーナー＞
・（高校）保護者対象：71%（○）　生徒対象：77%（○）
・（中学校）保護者対象：79%（○）生徒対象：89%（◎）</td></tr>
<tr><td>【今後の改善方策(Action)】
学力向上、スローラーナーの項目とも評価指標の数値を昨年度と比較して高く設定したが、目標を達成し、高い評価を受けた。しかし、昨年同様、中学校の方が高校より評価が高くなっており、高校の評価を上げることが課題である。そのために、さらなる ICT の活用などにより、学力向上に繋げたい。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">イ　基礎学力と多様な学びを身に付けた生徒を一人でも多く関西大学ならびに国公立大学へ送り出す。

【評価指標】
・関西大学への内部推薦の合格率 90%以上
・国公立大学に 10 名の合格
＊昨年15名を目標</td><td>自己評価</td></tr>
<tr><td>【取組状況(Do)】
関西大学への進学に向けて、学力向上を図るとともに、大学説明会、学部説明会、学部連携セミナー、「関大の知にふれる」など大学の学びを知るプログラムを実施した。また、国公立大学希望者には、高い学力を身につけるため、７時間目授業、長期休暇中の講習を行った。</td></tr>
<tr><td>【達成状況(Check)】（◎or○or△or×）
・関西大学への内部進学率86%（△）
希望者273名中　234名合格
・九州大１名　神戸大１名　大阪公立大２名　金沢大２名
大阪教育大１名　奈良県立大１名　　８名合格（△）</td></tr>
</table>

		【今後の改善方策(Action)】 関西大学への内部推薦の合格率90%に例年数パーセント届いていない。評価指標を下げるのではなく、大学併設校として引き続き方策を立て、目標を達成していきたい。具体的には、2023年度から英検のスコアが評価項目となるため、今まで以上に４技能の習得のための指導法を確立していく。

（２）　重点目標②：多様な学びを身に付けた生徒の育成

取組計画及び評価指標(Plan)		自己評価
ア　「主体的･対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行い､質の高い学びを実現する。 【評価指標】 ・授業評価「生徒参加・対話型の授業」の項目で高校生、中学生アンケート肯定率90%		【取組状況(Do)】 整備されたICT環境のもと、高校生だけでなく中学生にもiPadを導入し、授業においては、授業支援アプリを活用するなど生徒参加、対話型の授業を展開した。
		【達成状況(Check)】（◎or〇or△or×） ＜授業評価「生徒参加・対話型の授業」＞ ・高校生アンケート：96%（〇） ・中学生アンケート：95%（〇）
		【今後の改善方策(Action)】 高校生､中学生との高い評価となっているが､これに満足せず､中学生は､SDGｓをテーマにしたグループによる調べ学習や発表､高校生は、「総合的な探究学習」を通して、主体的・対話的な学びをより深めていきたい。
イ　探究学習を推進し､生徒の思考力や判断力､表現力を育成する。 【評価指標】 ・「総合的な探求の時間」「探究SDGｓ」実施に向けて、教員研修を年３回実施する。		自己評価
		【取組状況(Do)】 2021年度、新たに設定した取り組みである。第１回「探究の時間を知る」第２回「探究学習の計画の立て方と教員の役割」を講義形式で実施した。第３回はSDGsワークショップを行い、第４回で探究の時間を体験し、問いの立て方を学んだ。
		【達成状況(Check)】（◎or〇or△or×） ６月（50分）、７月（60分）、11月（ワークショップ） ２月（110分）年４回実施（〇）

		【今後の改善方策(Action)】 次回の研修（７月実施）で、探究学習の評価をテーマに、ルーブリックについて研修を行う予定である。

（３） **重点目標③:「コミュニケーションの能力を有し、自ら考え判断する力」を養う教育**

取組計画及び評価指標(Plan)	自己評価
ア　英語教育による基礎･基本を徹底し､コミュニケーションツールとしての英語力向上を図る。 【評価指標】 ・中学３年の合格目標を英検 準２級以上15%、 ３級以上80% ・高校３年の合格目標を英検 ２級以上 30% 準２級以上 80%	【取組状況(Do)】 英語科においては、検定教科書の習得と４技能の向上を目標に指導した。具体的には、オンライン英会話やネイティブ講師との TT（TeamTeaching）授業の充実、そして ICT 機器の活用により、個々が主体的に活動に参加する場面を増やした。 【達成状況(Check)】（◎or○or△or×） ・中学３年 準２級以上 39%（◎）　３級以上 89%（○） ・高校３年 ２級以上 27%（△）　準２級以上 73%（×） 【今後の改善方策(Action)】 評価指標については､中学校の準２級の目標数値を大きく上回り、今年度の取組みの成果が出ている。 高校では、2023 年度の内部推薦から英検のスコアが評価項目となるため、コースごとから学年全体の目標数値に変更した。今年度は、目標を達成していないが、高校２年生は、現段階で目標数値に近づいているので、今後も４技能の向上に努めていく。
イ　国際的な視野と問題意識を持ち､国際化が進む社会で活躍できるグローバル･リーダーを育成する。 【評価指標】 ・教員対象＜組織面＞アンケートの「国際化」項目で肯定率60%以上	自己評価 【取組状況(Do)】 国際教育部が 2022 年度から本格的にスタートする国際教育プログラムのロードマップを作成した。その中で、イングリシュキャンプ（中１）エンパワーメントプログラム（高１、高２）ジュニアエンパワーメントプログラム（中３、海外研修の代替）を希望者対象に実施した。 【達成状況(Check)】（◎or○or△or×） ・教員対象＜組織面＞アンケート 「国際化」項目　肯定率 54%（×） 【今後の改善方策(Action)】 教員対象「国際化」項目については、評価指標の数値を昨年

		度の肯定率 50%から 60%に上げたが、国際化の取り組みが教員に浸透しておらず達成できなかった。その原因は、アンケート結果を見ると、C評価が上がったことにある。2022 年度から外国人講師を１名増員することで TT 授業を増やし、海外研修旅行も実施予定である。それらの取組を通して国際理解教育を教員に浸透していきたい。

（４）　**重点目標④：大学とともに取り組む「次世代の人材育成」**

取組計画及び評価指標(Plan)		自己評価
ア　大学との連携で、学問の一端にいち早く触れ、知的好奇心を高め、大学での「幅広い学び」を体験する 【評価指標】 ・「中高大連携授業の実践」項目で保護者対象アンケート肯定率 80%以上、生徒対象アンケート肯定率 85%以上		【取組状況(Do)】 昨年度は、感染症の拡大により、計画されていた関西大学との中高大連携プログラムの多くが中止になった。今年度も、防災プログラム（中１）関大を知ろう（高１）が中止になり、学部説明会（高２）は、オンラインでの開催となった。しかし、その他のプログラムは、感染防止対策を講じながら実施することができた。
		【達成状況(Check)】（◎or〇or△or×） ＜中高大連携授業の実践＞ ・（高校）保護者対象アンケート：85%（〇） 生徒対象アンケート：86%（〇） ・（中学校）保護者対象アンケート：82%（〇） 生徒対象アンケート：87%（〇）
		【今後の改善方策(Action)】 昨年より生徒アンケートの評価指標の数値を上げたが、感染症の拡大が落ち着いた時期もあり、多くのプログラムを実施できたため、目標を達成できた。また、今年度、大学の協力のもと、新たに経済学部、社会安全学部、化学生命工学部との連携セミナーを実施した。今後も、関西大学のスケールメリットをいかし、できるだけ多くの魅力あるプログラムを実施していきたい。
イ　関西大学への進学をはじめ、一人ひとりの進路実現のためのキャリア教育を実践する。		自己評価
		【取組状況(Do)】 大学進学後、イメージした学部、学科の内容と違うというミスマッチが起こらないように、大学との連携授業や連携セミナーなどを通して、学部の志望理由の明確化を第一に、進路指導を行った。

【評価指標】 ・「進路指導」項目で高校保護者対象アンケート肯定率 70%以上 高校生徒対象アンケート肯定率 80%以上		【達成状況(Check)】（◎or〇or△or×） ＜進路指導＞ ・（高校）保護者対象アンケート：78.9%（◎） 生徒対象アンケート：87%（〇）
		【今後の改善方策(Action)】 「中高大連携授業の実践」と「進路指導」項目の評価は、連動している部分があり、そのことが数値上昇に繋り、生徒（高校）アンケートの評価指標を上げたにも関わらず達成できた。しかし、国公立大学志望者の進路指導には課題があるので、2022 年度から高校 1 年生でスタートする国公立大学を目指す特進アドバンスコースにおいて、新たに進路指導計画を構築する。

3　アンケートの実施状況について

関西大学の併設校で構成される「学校法人関西大学自己点検・評価委員会 併設校部門委員会」において、次の①～⑤の観点で併設校が共通に学校評価を行うこととした。

① 「教員対象（組織）のアンケート」における質問項目設定は、併設校としての共通性と独自性の両者を尊重し、併用することとした。共通項目を 14 項目定めるとともに、併設校それぞれ独自の項目を設定した。

② 「保護者対象」および「生徒対象」ともにアンケートを行うこととし、併設校間での共通項目をそれぞれ 13 項目定めるとともに、併設校それぞれ独自の項目を設定した。

③ 上記の３種類の対象者別アンケートの評価項目とその表現は、互いにリンクさせた。

④「学校関係者評価」を各併設校において実施するに当たり、学校関係者評価委員会を立ち上げ、ステークホルダーに建設的な意見を求め、学校教育の充実と発展にご協力をいただいた。

⑤ 実施日程

Ⅰ　教員対象学校評価

「個人」および「組織」　　12 月 13 日（月）～12 月 21 日（火）

Ⅱ　保護者対象学校評価

全学年　　1 月 8 日（土）～1 月 19 日（水）

Ⅲ　生徒対象

全学年　　1 月 8 日（土）

⑥ 本報告書作成にあたって

上記のアンケートが実施された後は速やかにデータの集約が行われ、統計資料としてまとめられた。それをもとに、評価委員からそれぞれの立場で分析をし、評価委員から出された意見をまとめた。最終的には、そのまとめの資料を使って、再度分析と改善案についての検討を加え、本報告書を作成するに至った。

4　アンケート結果の分析

◆　中高教員対象　学校評価＜組織面、個人面＞

・組織面の自己評価項目の平均

2019 年：2.88　　2020 年：2.96　　2021 年：3.01

・個人面の自己評価項目の平均

2019 年：3.07　　2020 年：3.16　　2021 年：3.21

組織面、個人面の自己評価項目の平均とも、直近３年間は、上昇している。特徴的なのは、教員研修の項目で、ポイントが大きく上昇しており、そのことが平均の上昇につながった一因である。これは、2022 年度から本格的に取り組む「探究学習」の教員研修を計画的に４回実施したためと考えられる。また、組織面の自己評価と個人面の自己評価の差は、例年 0.2 ポイントあるが、2021 年度も同様の傾向で、自己評価の高い傾向は続いている。

（１）学校運営について

①ミドルマネジメントによる組織運営　＜組織面＞

「主任（学年・分掌・教科）がミドルアップとミドルダウンに努め、組織運営が活性化している。」

2019 年：2.83　　2020 年：2.81　　2021 年：2.74

②会議の有効性　＜組織面＞

「職員会議や学年会議、教科会議などが効率よく機能的に運営されている。」

2019 年：2.85　　2020 年：2.87　　2021 年：2.77

組織面の自己評価において、ミドルマネジメントによる組織運営の評価は、昨年と比べＡ評価が 5.8 ポイント下げ、近年下降傾向が続いている。また、会議の有効性については、昨年と比べＢ評価がポイントを下げ、Ｃ評価のポイントが上がったことにより、昨年より 0.1 ポイント下降した。個人面の評価においては、教員間の連携と会議の有効性とも 3.2 を上回る評価であることから、教員一人ひとりは、連携をとり、会議への参加にも積極的である。面談を通して、先生方の意見を吸い上げ、組織として
重要な２項目については、3.0 を評価の目標としたい。

（２）教育内容、生徒支援について

①学力向上における組織的な取り組み、スローラーナーへの対応

2021 年度は、学力向上への組織的な取組の組織面の評価は、2.85 から 2.92 に上昇し、スローラーナーへの対応については、2.8 ポイント台を維持した。このことが、中学校、高校ともに保護者、生徒アンケートにおいて、好評価に繋がっていると考えられる。中学校では、e ラーニングの導入と補習、放課後の個別指導を行っている。また、中高とも、英語、数学で習熟度別授業を取り入れるなど、生徒一人ひとりの学力に応じた指導を行っている。このような組織的な取組が、教員間にも浸透してきている。

②中高大連携事業の実践

2020 年度は、関西大学との教育連携の質問に対しては、感染症の拡大により、多くの取組が中止、またはオンラインでの実施となったため、組織面の評価が 2019 年度の 3.13 から 3.05 に低下した。2021 年度は、中学防災ゼミナール、社会学部連携セミナー、教育推進部連携講座が一部のプログラムは中止となったが、その他の連携事業は、可能な範囲で実施できた。そのことにより、組織面の評価が、3.44 と大きく上昇した。

（３）生徒支援について

①家庭との連携状況

生徒が、充実した学校生活を送る上で、家庭との連携は不可欠である。家庭との連携状況では、組織面、個人面の自己評価とも、昨年と大きな変動はなかった。2020 年度は、６月までの臨時休校のため、学力面、精神面に心配な生徒が多くなり、例年以上に家庭との連携が大切となった。2021 年度は、コロナ禍も２年目となり、オンライン授業やメールによる家庭への連絡により、家庭との連携体制も整いつつある。

②進路指導体制、部活動支援状況、学校行事体制

上記３項目については、組織面、個人面の自己評価とも、3.0 ポイントを上回り、高い評価となっている。その中で、進路指導体制の評価は、3.09 から 3.18 に上昇している。2020 年度内部進学における卒見者入学試験において、試験科目の変更と主体性評価の導入による入試制度変更があった。このことにより、進路指導を見直すことになったが、2021 年度は、進路指導方針が教員に浸透してきたあらわれと思われる。部活動支援状況、学校行事体制の評価は、昨年と大きな変動はなかった。部活動、学校行事については、今まで同様、感染防止対策を講じながら、「どうすればできるか」を考え実施している。

◆高校（保護者対象・生徒対象）学校評価

（１）「学校評価重要８項目」の推移グラフより

①学園生活の満足度（学園生活）

保護者：下降した時期もあったが、上昇傾向で、特にＡ評価が増加している。(3.37)

生　徒：下降した時期もあったが、高かった年と同程度まで上昇している。(3.20)

②私学の独自性（教育方針・教育目標）

保護者：やや下降したが、ほぼ 3.00 以上の評価で推移している。(3.09)

生　徒：下降した時期もあったが、上昇傾向で、高かった年を上回っている。(2.94)

③知育（学力向上における組織的な取組み）

保護者：ほぼ横ばいであったが、2020 年度から上昇傾向に転じた。(2.98)

生　徒：下降した時期もあったが、上昇傾向で、高かった年を上回っている。(3.16)

④知育（スローラーナーへの対応）

保護者：ほぼ横ばいであったが、2020 年度から上昇傾向に転じた。(2.86)

生　徒：下降傾向であったが、2020 年度から上昇傾向に転じた。(3.06)

⑤徳育（社会規範の理解とモラルの醸成）

保護者：大きな変化がなく、3.00 以上の評価で推移している。(3.10～3.23)

生　徒：3.00 以上の評価で推移しながら、A評価が増えて上昇した。(3.08～3.29)

⑥進路指導（進路指導体制）

保護者：ほぼ横ばいであったが、2020 年度から上昇傾向に転じた。(3.07)

生　徒：下降した時期もあったが、上昇傾向で、高かった年を上回っている。(3.27)

⑦クラブ活動（部活動支援）

保護者：やや上昇傾向であり、特にA評価が増加している。(3.11～3.23)

生　徒：上昇傾向にあり、3.00 以上の評価で推移している。(3.17～3.36)

⑧学校行事（学校行事支援体制）

保護者：3.00 以上の評価で推移しているが、やや下降傾向にある。(3.09～3.18)

生　徒：大きな変化がなく、3.00 以上の高い評価で推移している。(3.26～3.33)

（２）分析

上記「学校評価重要８項目」については、生徒による評価では全項目で評価は上昇しており、保護者による評価でもほとんどの項目で上昇している。保護者の評価でやや下降しているのは、「教育方針の理解」と「学校行事」の項目である。コロナ禍で、保護者の来校機会が減っているため、やむを得ない推移であるとも考えられるが、プラスアルファの手立ては考えていく必要がある。ただし、生徒による評価ではともに上昇傾向で高い評価が得られており、特に学校行事においては、制限がある中でも生徒会を中心とした企画や運営が、生徒全体の満足度に繋がっていると思われる。

また、学習面から進路指導に至るまで、保護者、生徒ともに 2020 年度から上昇を示すものが多く、高評価であった年度と同等または上回る評価が得られている。臨時休校中や出席停止生徒を対象にしたオンライン授業を昨年度以上に充実させたことや、内部進学率は下降したものの他大学も含めたきめ細かな進路指導が実を結んでいることなども評価に繋がったと考えられる。

さらに、「クラブ活動」では、継続して高評価が得られており、感染対策を講じながらの指導や、感染者が出た際の早期対応なども評価されていると思われる。

◆中学校（保護者対象・生徒対象）学校評価

（１）「学校評価重要８項目」の推移グラフより

①学園生活の満足度

保護者：2017 年を境に 2018 年度下降したが、2018 年を境に徐々に上昇し本年度は、過去５年間で最高ポイントとなる。

生　徒：過去５年間で右肩上がりのポイントとなり、年々上昇傾向が見られ、本年度は過去最高の 3.37 ポイントとなる。

②私学の独自性（教育方針・教育目標）

保護者：過去５年間でＢ評価が極端に多く、３ポイントをキープしているが、本年度は過去最高の 3.27 ポイントとなる。それに伴い、A評価が徐々に上昇してきている。

生　徒：2017 年度から 2021 年度まで上昇傾向であり、本年度は、3.02 ポイントと過去５年間で最高ポイントとなる。

③知育（学力向上における組織的な取組み）

保護者：2019 年度は減少したものの、2021 年度は、3.28 ポイントと過去最高となる。ICT 機器の採用や e-ラーニングの実施など徐々に評価されてきているものと思われる。

生　徒：過去５年間の推移をみると上昇傾向がうかがえる。また、3.31 ポイントと最高ポイントとなる。

④知育（スローラーナーへの対応）

保護者：過去５年間の推移をみると上昇傾向がうかがえる。2019 年度は下降したが、その後上昇し 2021 年度は、最高ポイントとなる。数年採用してきている e-ラーニングの活用定着が見られる。

生　徒：過去５年間の推移は、上昇傾向である。特に 2021 年度は、最高ポイントとなり、生徒たちのＡ評価が 50 台と２年連続となる。

⑤徳育（社会規範の理解とモラルの醸成）

保護者：過去５年間の推移をみると、3.0 ポイントを推移している。2018 年度から上昇がみられ、本年度は過去最高ポイントである。

生　徒：一方、生徒は、過去５年間で上昇傾向が見られ、2021 年度は最高ポイントとなる。学校での継続的な指導が生徒たちには浸透してきているとみられる。

⑥進路指導

保護者：Ａ評価が極端に少なく年々上昇傾向である。過去５年間の推移は、右肩上がりと本年度は過去最高となっている。

生　徒：2018 年度から上昇し、2019 年度、2020 年度と 3.0 ポイント以上を維持しつつ、上昇傾向が続いており、本年度は、最高のポイントとなる。

⑦部活動支援

保護者：2017 年度から 2021 年度まで上昇傾向である。
また、2020 年度以降は、Ａ評価の上昇が目立つ。

生　徒：2017 年度から年々上昇傾向であり、2021 年度は、3.40 ポイントと上昇となる。

⑧学校行事指導体制

保護者：過去３ポイント台と上位で安定しており、上昇傾向であったが、
2020 年度は、新型コロナウイルスのため学校行事が大幅に減少し評価することが難しくなってきていると思われるが、本年度は、何とか行事をしたいという学校の考えが伝わっているようである。

生　徒：過去５年間を見ると３ポイントから微動していたが、新型コロナウイルスのため学校行事が減少し、2019 年より大きな上昇はない。

（２）分析

全体として昨年度よりすべての項目で、評価ポイントが上昇した。その中で、補習指導や学力向上は、保護者が大幅な上昇に対し、生徒の評価ポイントも 3.3 を上回り、保護者と生徒間でのギャップはここ数年で縮まっている。生徒自身、学習へ対する意識が少しずつ向上してきている。

中学生の学校の教育方針が低迷であったが、A評価の人数が年々増加しているのがうかがえる。少しずつではあるが浸透してきているようである。教員が子供の教育のために信念を持っての指導を心がけているが、教員・保護者と生徒間で方針の理解度に差がみられていたが、徐々に少なくなってきている。継続的に生徒に対し学校方針を理解してもらう機会を多くし、保護者も今後学校と共に協力していただくことが必要と考える。

進路指導については、毎年生徒と保護者間でギャップが感じられる。生徒は、面談や日々の中で指導を受けているが、保護者に対しては中３での全体進路説明会のみである。三者面談などを利用して個別に話はしているが、学校として生徒と保護者の連携を支援するような取組の検討を考えたい。

クラブ活動においては、保護者は、B評価が非常に多いが、ここ２年間で少しずつA評価の上昇が目立つ。逆に生徒は、A評価が最も多く、保護者と生徒でとらえ方にギャップが生じている。

5　学校関係者評価委員会からの評価結果

（１）　自己評価の結果を受けて

学校関係者評価委員会では、最初に、教員の自己評価、次に、重要８項目について保護者、生徒対象アンケートの分析を行った。その後、重点目標である　①基礎的・基本的な「確かな学力」を修得し、進路実現を果たす　②「多様な学び」を身に付けた生徒の育成　③「コミュニケーションの能力を有し、自ら考え判断する力」を養う教育　④大学とともに取り組む「次世代の人材育成について」、取組状況、達成状況、今後の改善方策について、意見交換を行った。

教員の組織面、個人面の学校評価では、委員から教職員間連携の組織面での評価が年々減少している原因について質問があった。教員一人ひとりは、個人的には、教員間の連携をとりながら、会議への参加も積極的であると考えている。そのことからも、面談を通して、先生方の意見を吸い上げ、組織として連携を実感できるようにしていきたい。

高校の保護者対象、生徒対象のアンケート（重要８項目）においては、委員より、「学校の満足度について、大学のアンケートでは、コロナ禍に入学した２年次生の満足度が他学年に比べて圧倒的に低く、この２年次生に対してどのような支援ができるかを検討している。北陽も同様に満足度の低い学年がある場合は、重点的に支援をする必要がある」という意見があった。この意見から、アンケートを学年ごとに集計して分析する必要性を感じた。また、委員からは、「これまで継続してきたことを代替プログラムで実施し、得られる効果が変わらないのであれば、今後、代替プログラムを実施していくことも１つの方法である」と追加意見があった。

中学校の保護者対象、生徒対象の学校評価（重要８項目）においては、委員から、内部生が高校へ進学する際に、外部生との学力差を内部生自身がわかるように指導をしていただきたい旨、意見があった。これについては、外部生の中学３年生の模試成績を提示し、その数値を目標に指導している。その中で、内部生の学力差は大きいため、スローラーナーへの指導を課題にして取組んでいる。

その他、学校評価アンケートに関わらず、意見を求めた。委員から、食堂のメニューについて、女子生徒向けのメニューも用意してほしい旨、意見があった。これに対して、事務局より、

生徒会や教員を含め、現在、業者とメニューの充実に向けた打合せを行っており、改善していきたいと返答があった。また、委員からは、学食について、「視点を変えれば学校の広報となるため、ぜひ生徒や教員の意見も取り入れていただきたい」と要望があった。

また、関西大学への内部進学で英検が必須になったことにより、英検に特化した指導になってしまう可能性もあるため、他の併設校と異なった指導をしていただきたい旨、意見があった。本校では、2022 年度から中学、高校で本格的に国際理解教育を進めていく。その一つとして、高校２年生でグローバルクラスを設置し、英語によるディベートや発表、また、探究学習などを行い、大学進学後、海外の大学へ長期留学が可能な人材を育成していく。

最後に、委員から、「学力だけでなく、多面的な能力を身に付けることが必要である」と指摘があった。本校としても、例えば、歴史的事象を、政治的、経済的、社会的、文化的といった様々な側面から見て、捉えることの出来るような生徒を育成していきたい。

（２） アンケート結果について

外部評価委員として 2021 年度の評価について、2021 年度の学校教育計画、中高(教員対象)学校評価、高等学校(保護者対象・生徒対象)学校評価、中学校(保護者対象・生徒対象)学校評価の結果、ならびに本委員会での議論をもとに、以下、意見を述べる。高等学校・中学校の教職員におかれては、今後の検討課題としていただきたい。

重点目標である「１.基礎的な・基本的な『確かな学力』を修得し、進路実現を果たす」では、2021 年度において評価指標の基準を上げアンケートを行ったところ、スローラーナーに対する評価では、保護者対象のアンケート肯定率の基準 70%に対して、高校 71%、中学校 79%、また生徒対象アンケート基準 75%の肯定率についても、高校 77%、中学校 89%と評価指標を上回っており、昨年度に引き続き成果が見られている。これまでの学校全体の取組が功を奏しており、教育内容の改善に向けて努力されたい。

2020 年度から導入した新指標である「学力向上」においても昨年度より評価基準を高く設定されており、保護者対象のアンケート肯定率の基準 75%に対して、高校 76%、中学校 85%、また生徒対象アンケート基準 80%の肯定率についても、高校 83%、中学校 89%と評価指標を達成しており、評価できる。重点目標「１.基礎的な・基本的な『確かな学力』を修得し、進路実現を果たす」は、学校教育機関として果たすべき基本的な責務であり、ステークホルダーの高い満足度に満足せず、教育の質の改善に向けたたゆまない PDCA サイクルの循環についてお願いしたい。

関西大学への内部進学については、86%と目標（90%以上）にやや届かなかった。中学校からの進学者については、高校入学者からとの学力差、またその他要因についての分析を行い、学力向上に向けての取組と生徒のモチベーションについて工夫されたい。特進アドバンスクラスからの上位国公立への進学は、10 名と成果も出ているところであり、引き続き努力されたい。

「２.多様な学びを身に付けた生徒の育成」について、昨年度から導入した「生徒参加・対話型の授業」項目について、高校、中学校いずれも基準である 90%をそれぞれ、高校 96%、95%と上回り、生徒からも評価を受けている。こちらについて昨年度も指摘しているが、アクティブラーニングの展開は、教員のスキルによってその授業運営にばらつきが出ないよう個々

の教員の能力向上が必須である。大学とも連携しながら授業改善について引き続き努力されたい。

「３.『コミュニケーション能力を有し、自ら考え判断する力』を養う教育」では、評価指標である英検合格率については、昨年度と同様、高校３年生において英検２級、準２級とも目標を達成しており、これまでの取組が成果として現れており、評価できる。中学３年生の準２級については今年度の合格状況は芳しくなかった。英検を評価指標の一つとして位置づけることに異論は無いが、数字を追いかけることに本質的に教育的な意味が無いことも前提とした上で、その取扱について常に多角的な評価と能力の向上について検討いただきたい。

「４.大学とともに取り組む『次世代の人材育成』」では、「中高大連携授業の実践」の項目で保護者対象アンケート 80%以上、生徒対象アンケートでは、昨年より基準を上げ 85%以上と基準を設定しているが、保護者対象では、高校 85%、中学校 82%、生徒対象アンケートでは、高校 86%、中学校 87%、と目標指標を達成しており、評価できる。昨年同様、コロナ禍で関西大学に来学する機会もなく、関西大学で何を学ぶのか、学びたいかの意識づけや動機づけが難しい状況の中で、さまざまな工夫をいただいている。引き続き、生徒本人の関心や将来の方向性、実際の学びの内容の間にミスマッチが起こらないようお願いしたい。

中高(教員対象)学校評価では、おおむね例年通りでいくつかの項目について組織と個人の自己評価の差がみられるが、安定した評価となっている。

学校運営については、ミドルマネジメントによる組織運営についてはやや下降傾向、会議の有効性についてはコロナ禍においてその運営が難しく同様に下降傾向が見られている。学校長が指摘しているが、個人面の評価においてはポイントも高いため面談等を通じた積極的な意見の吸い上げを期待したい。教員一人ひとりが学校運営に携わり、それが組織として機能している効果についての肯定感が影響していると考えられ、引き続き、北陽高等学校中学校の組織文化の醸成に努めていただきたい。

教育内容については、スローラーナーへの対応についてのポイントが上昇、高水準で維持している。この点については評価できるものの、委員からは、保護者の不安に関して意見が出されている。学校としては、ｅラーニング、個別指導等の強化に努めているところであるが、生徒や保護者との理解の相違が見られているのも事実である。保護者、生徒、学校間の情報共有、コミュニケーションについて検討されたい。

生徒支援については、家庭との連携、部活動支援、学校行事体制の状況については大きな変動はなく、進路指導体制に関して学校長からは、卒見試験による試験科目の変更により指導体制の見直すことが功を奏し、ポイントの上昇に繋がっている。これは常にＰＤＣＡサイクルを動かすことによって現状の改善を進めることが、より良い制度の構築に繋がることを示すものであり、他のシステムの見直しについても引き続きお願いしたい。

高等学校における保護者、生徒対象の学校評価では、学校評価重要８項目の保護者の評価はおおむね高水準で推移しており、これまでの取り組みが評価されているといえる。引き続き、高等学校においては北陽の政策ビジョン、目標に基づいて教育の推進、改革に努めていただきたい。「８学校行事に対し学校と保護者が協力できていると思いますか」の項目については、コロナ禍の影響もあり下降傾向となった。今後のアフターコロナに向けて、これまでの取組の再開ではなく、新たな時代に対応した協力関係の構築にむけて工夫いただきたい。

中学校における保護者、生徒対象の学校評価については、学校評価重要８項目の保護者の評価は、前年度に比べ多くの項目において好転している。学校長はじめ教職員が、重要項目の改善点に組織的に取り組まれたことが評価されているといえる。引き続き、高等学校同様、北陽の政策ビジョン、目標に基づいて教育の推進、改革に努めていただきたい。

（関西大学学長補佐／人間健康学部 教授　岡田 忠克）

6　校長の意見書

関西大学北陽高等学校・北陽中学校
校長　田中　敦夫

重点目標　①基礎的・基本的な「確かな学力」を修得し、進路実現を果たす、②「多様な学び」を身に付けた生徒の育成、③「コミュニケーションの能力を有し、自ら考え判断する力」を養う教育、④大学とともに取り組む「次世代の人材育成」については、既に述べている。ここでは、前年度の外部評価委員からの指摘も踏まえ、記載することとする。

重点目標①では、外部評価委員から、関西大学への内部進学率、国公立大学合格者数がともに未達成、大幅未達成であり、数値目標の設定自体に問題はないか指摘があった。国公立大学合格者数については、10 名と下方修正したが、2022 年度の合格者数は８名で未達成であった。これらの取組状況と改善方策ついては、P２～３、P６を参照していただきたい。

重点目標②では、ICT 教育の推進と「主体的・対話的で深い学び」については、概ね順調に進んでいるが、昨年、外部評価委員から、教員や生徒が ICT 教育の現状に満足しているかについて評価がみえないと指摘があった。今年度、新たに教員アンケートに「ICT ツールを有効に活用しているか」という項目を追加した。結果は、肯定率が 75%、評価ポイントが 3.11 と高評価となり、ICT 教育が浸透しつつあることが伺われる。また、重点目標②で「探究学習」の取組計画を新設した。

重点目標③では、英検３級の合格率の大幅未達成については、今年度達成し、また、準２級の合格率は、目標を大きく上回った。詳細については、P４を参照していただきたい。また、グローバルリーダーを育成することを目標とする指標については、設定が難しいが、高校２年生で設置されるグローバルクラスが、英検準１級を取得し、大学進学後の長期留学を目標にしているので、英検準１級合格が一つの指標になると考える。

重点目標④では、大学との連携は、感染症の拡大が落ち着いた時期に実施することができた。これらのキャリア教育で身につけた能力を、探求学習を通して問題解決能力の向上に繋げていきたい。

教員へのアンケート項目の「教職員間連携」において、学校関係者評価委員会及び外部評価委員から数値の低さを指摘された。これを改善するためには、面談を通して、教員の意見を吸い上げ、組織として連携をはかると同時に、学校全体の教育力向上のための教員研修の充実が必要と考える。教員研修については、2022 年度から本格的に取り組む「探究学習」の教員研修を４回実施したことから、アンケートにおいて、評価が 0.4 ポイント上昇しており、今後も継続していきたい。

7　アンケート結果

図表

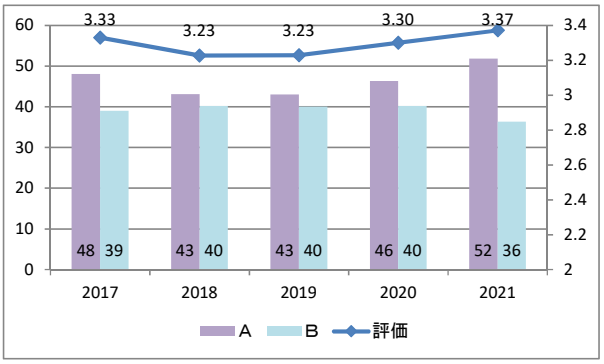
【グラフ①】 保護者（高校）対象　「学校評価重要８項目」の推移（2017 年～2021 年）
【グラフ②】 高校生対象　「学校評価重要８項目」の推移（2017 年～2021 年）
【グラフ③】 保護者（中学校）対象　「学校評価重要８項目」の推移（2017 年～2021 年）
【グラフ④】 中学生対象　「学校評価重要８項目」の推移（2017 年～2021 年）
【グラフ⑤】「学校生活の満足度」の推移（2017 年～2021 年）
【グラフ⑥】「教育方針・教育目標」と「併設校としての使命」の推移（2017 年～2021 年）
【グラフ⑦】「学力向上の組織的な取組」と「スローラーナーへの対応」の推移
（2017 年～2021 年）
【グラフ⑧】「保護者との連携」（学習と生徒指導）の推移（2017 年～2021 年）
【グラフ⑨】「社会規範の理解」と「生徒指導方針の一貫性」の推移（2017 年～2021 年）
【グラフ⑩】「進路指導体制」の推移（2017 年～2021 年）
【グラフ⑪】「部活動支援」と「学校行事指導体制」の推移（2017 年～2021 年）

数表

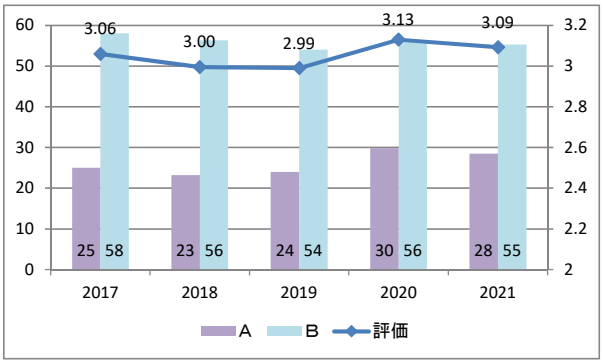
資料 1―1　2021 年度　学校評価　教員対象アンケート　〈組織〉
資料 1－2　2021 年度　学校評価　教員対象アンケート　〈個人〉
資料 1―3　2021 年度　学校評価　教員対象アンケート　―「組織」の過去４ヵ年比較―
資料 1―4　2021 年度　学校評価　教員対象アンケート　―「個人」の過去４ヵ年比較―
資料 2 ①　2021 年度　学校評価　保護者アンケート結果　―高中別―
資料 2―1　2021 年度　学校評価　保護者対象アンケート結果（高校）　―過去４ヵ年比較―
資料 2―2　2021 年度　学校評価　保護者対象アンケート結果（中学校）―過去４ヵ年比較―
資料 2 ②　2021 年度　学校評価　生徒対象アンケート結果　―高中別―
資料 2―3　2021 年度　学校評価　生徒対象アンケート結果（高校）　―過去３ヵ年比較―
資料 2―4　2021 年度　学校評価　生徒対象アンケート結果（中学校）―過去３ヵ年比較―
資料 3―1　2021 年度　授業評価分析資料（高校・中学校別）
資料 3―2　2021 年度　授業評価分析資料（教科別）

保護者（高校）対象 「学校評価重要8項目」の推移 （2017年～2021年）　【グラフ ①】

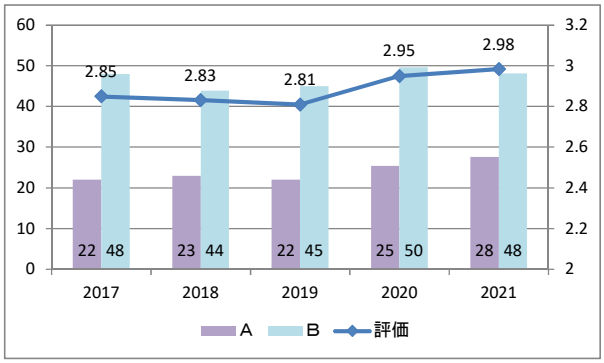
1 ご子女を本校に入学させて良かったと思われますか



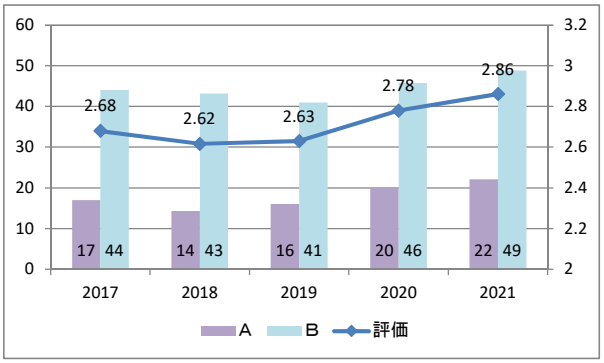
2 本校の教育方針を理解されていますか



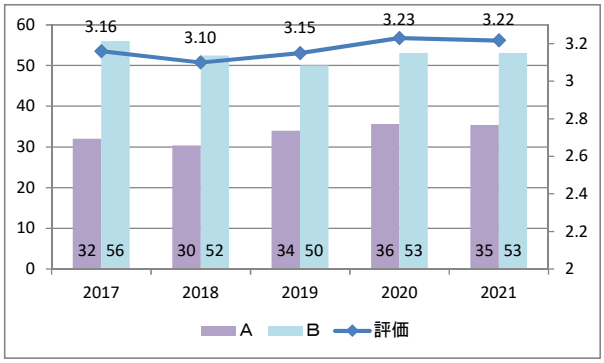
3 学力向上のために組織的な取組を行っていると思われますか



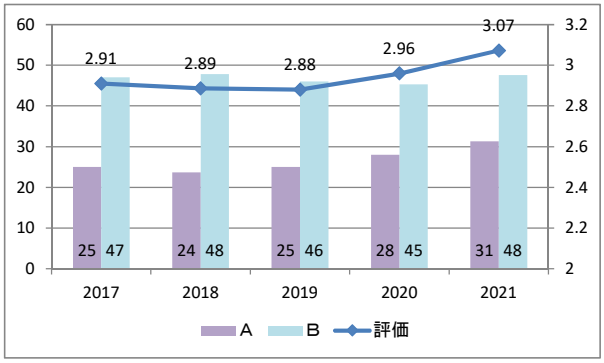
4 補習授業の取組が十分に行われていると思われますか



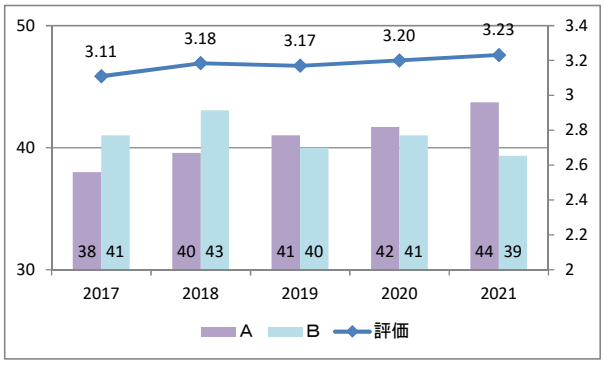
5 マナーやモラルを向上させる取組がされていると思われますか



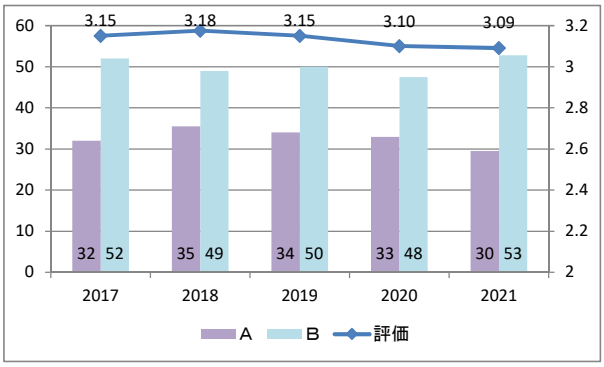
6 きめ細かな進路指導が行われていると思われますか



7 クラブ活動を学校全体で支援していると思われますか



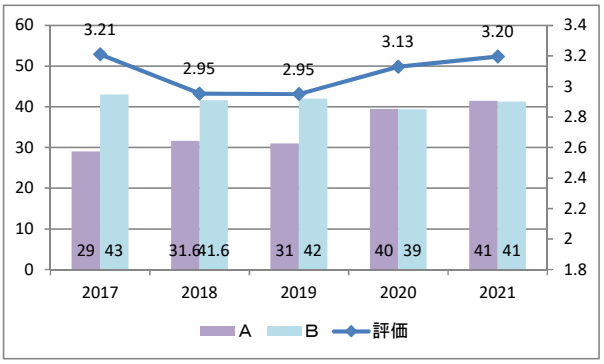
8 学校行事に対し学校と保護者が協力できていると思われますか



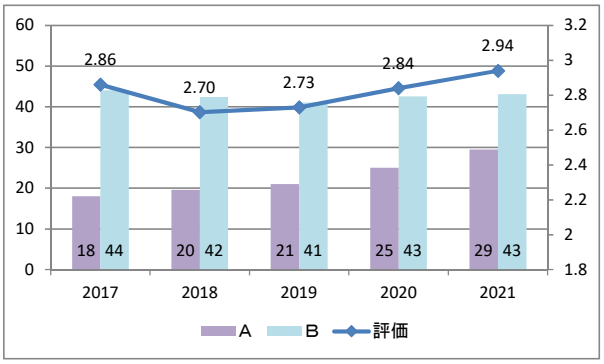
※縦軸について、右側は評価平均値、左側はA･Bの割合（%）を示す。
評価平均値は、アンケート回答のA（そう思う）を4、B（どちらかといえばそう思う）を3、C（どちらかといえばそう思わない）を2、D（そう思わない）を1として、以下の式により算出したもの。
{4×（Aの回答数）＋3×（Bの回答数）＋2×（Cの回答数）＋1×（Dの回答数）}÷（回答総数）＝評価平均値

高校生対象 「学校評価重要8項目」の推移 （2017年～2021年）　【グラフ ②】

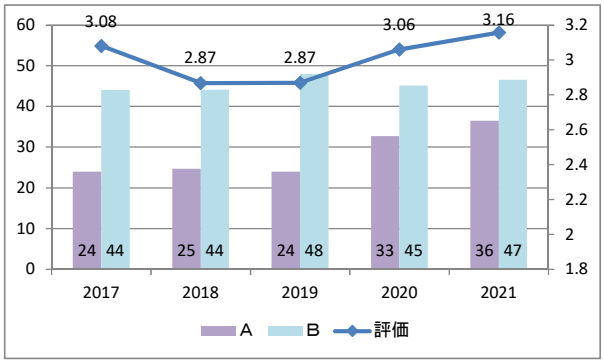
1 この学校に入学して良かったですか



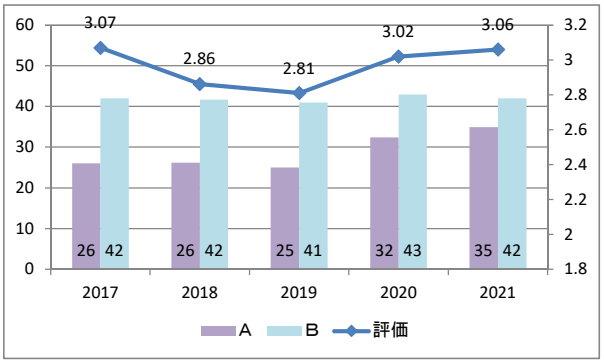
2 学校の教育方針を理解していますか



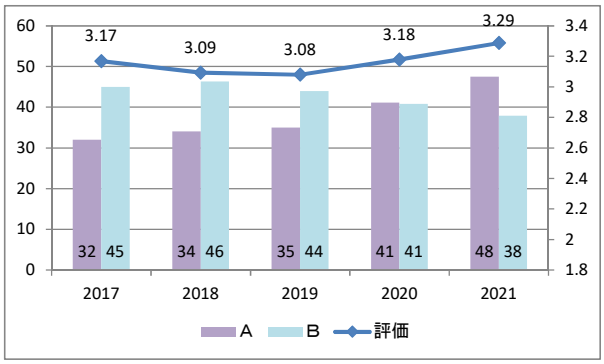
3 自分の学力は向上していると思いますか



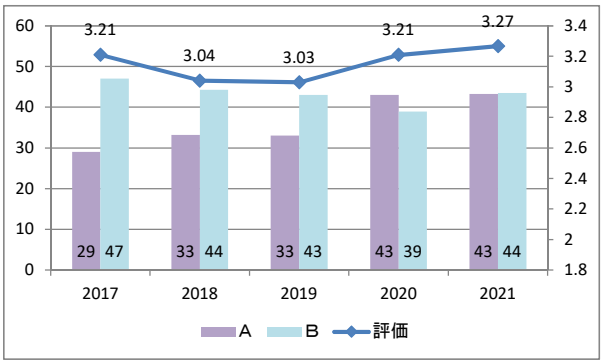
4 補習授業等、適切なフォローがありますか



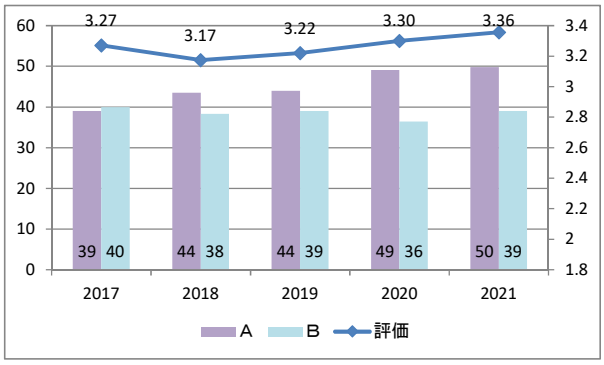
5 ルールやマナーについて指導を受けていますか



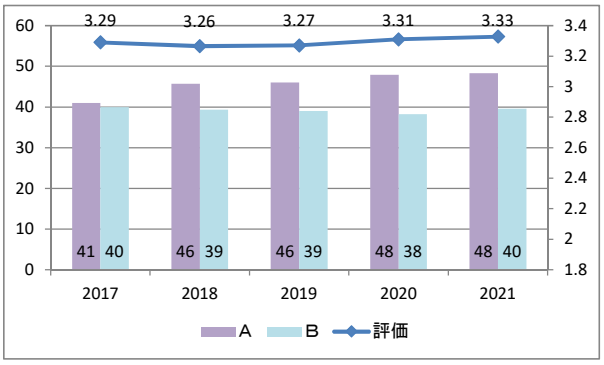
6 きめ細かな進路指導が行われていると感じますか



7 クラブ活動を学校全体で支援していると思いますか



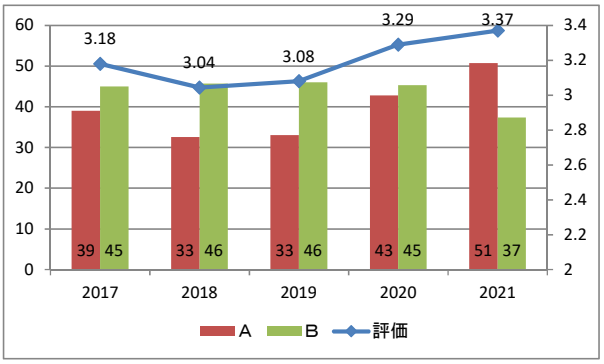
8 学校行事に対して学校は支援していると思いますか



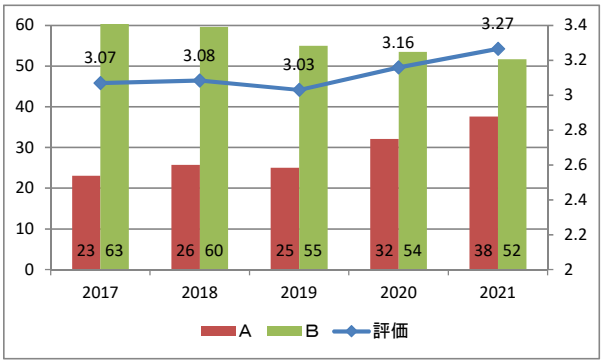
※縦軸について、右側は評価平均値、左側はA･Bの割合（%）を示す。
評価平均値は、アンケート回答のA（そう思う）を4、B（どちらかといえばそう思う）を3、C（どちらかといえばそう思わない）を2、D（そう思わない）を1として、以下の式により算出したもの。
{4×（Aの回答数）＋3×（Bの回答数）＋2×（Cの回答数）＋1×（Dの回答数）}÷（回答総数）＝評価平均値

保護者（中学）対象 「学校評価重要8項目」の推移 （2017年～2021年）　【グラフ ③】

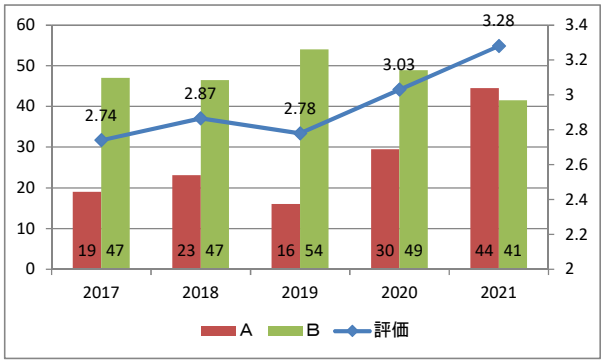
1 ご子女を本校に入学させて良かったと思われますか



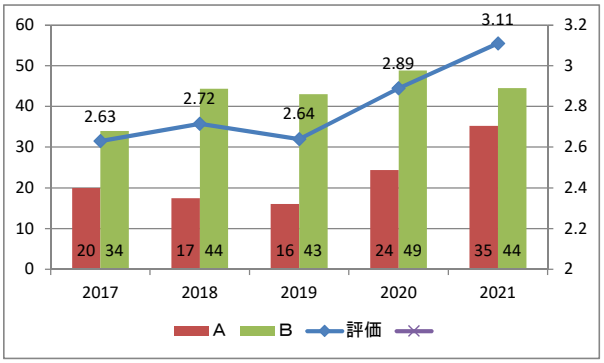
2 本校の教育方針を理解されていますか



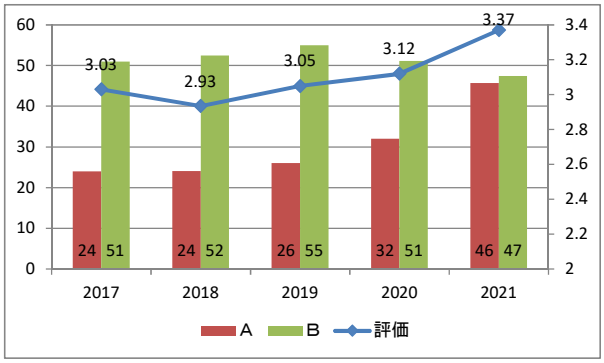
3 学力向上のために組織的な取組を行っていると思われますか



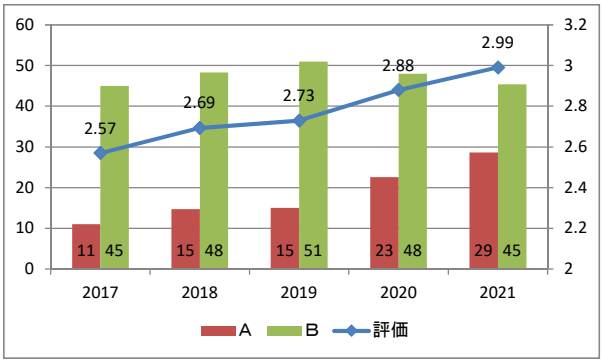
4 補習授業の取組が十分に行われていると思われますか



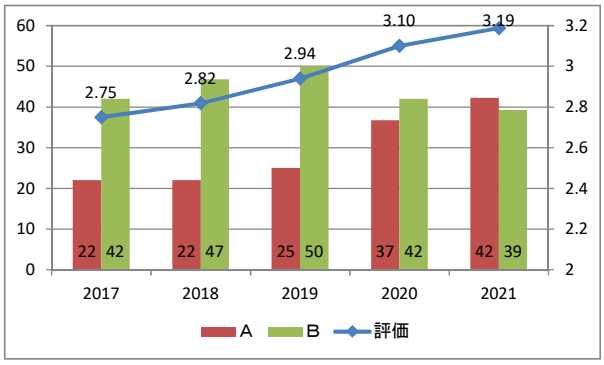
5 マナーやモラルを向上させる取組がされていると思われますか



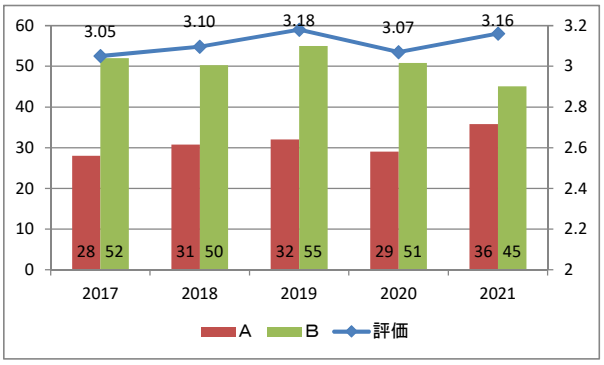
6 きめ細かな進路指導が行われていると思われますか



7 クラブ活動を学校全体で支援していると思われますか



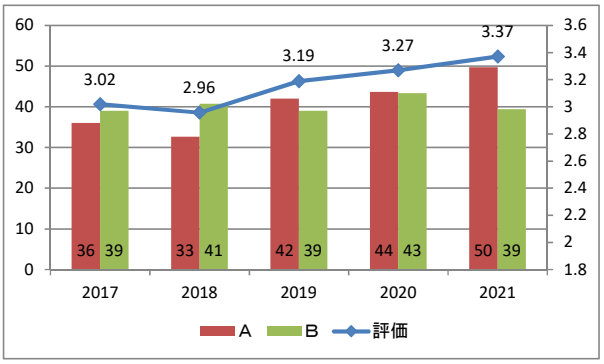
8 学校行事に対し学校と保護者が協力できていると思われますか



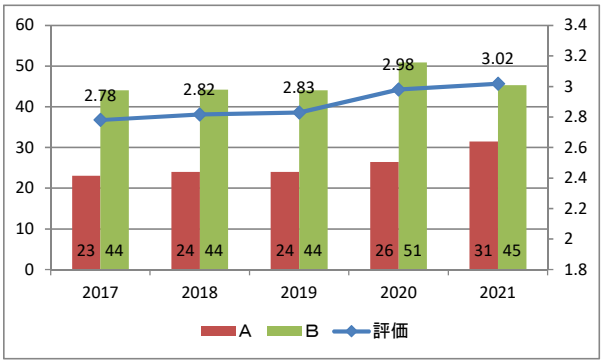
※縦軸について、右側は評価平均値、左側はA･Bの割合（%）を示す。
評価平均値は、アンケート回答のA（そう思う）を4、B（どちらかといえばそう思う）を3、C（どちらかといえばそう思わない）を2、D（そう思わない）を1として、以下の式により算出したもの。
{4×（Aの回答数）＋3×（Bの回答数）＋2×（Cの回答数）＋1×（Dの回答数）}÷（回答総数）＝評価平均値

中学生対象 「学校評価重要8項目」の推移 （2017年～2021年）　　【グラフ ④】

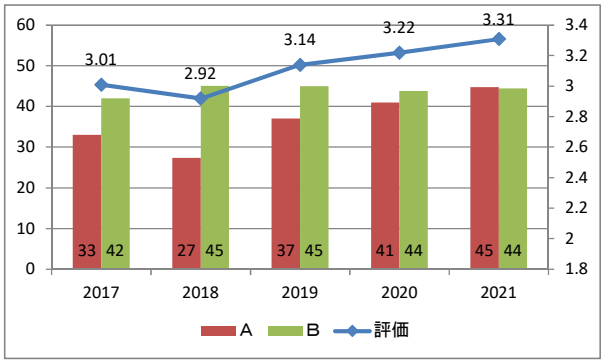
1 この学校に入学して良かったですか



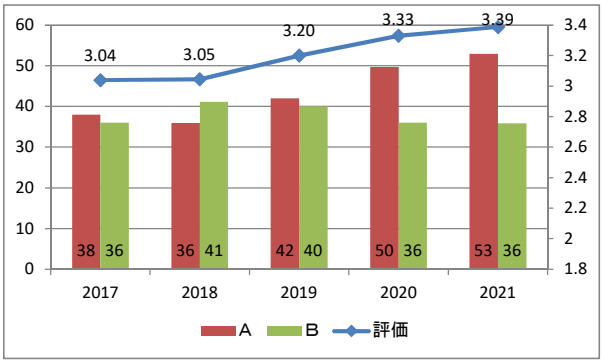
2 学校の教育方針を理解していますか



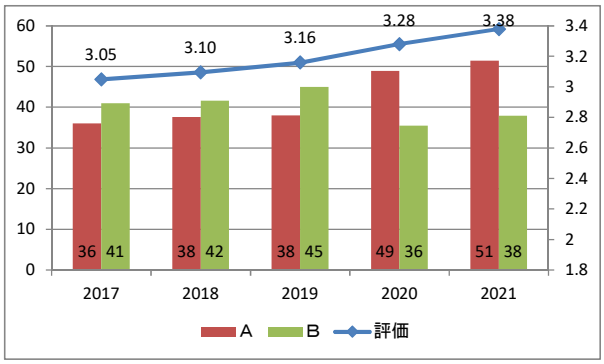
3 自分の学力は向上していると思いますか



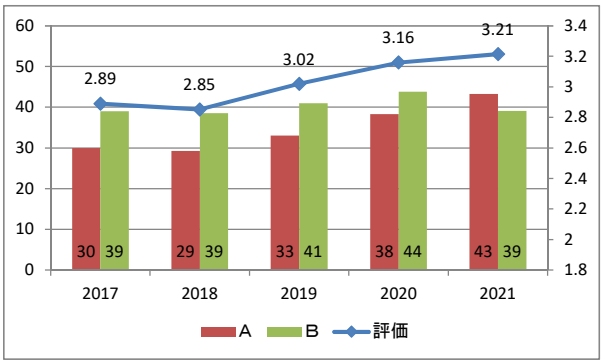
4 補習授業等、適切なフォローがありますか



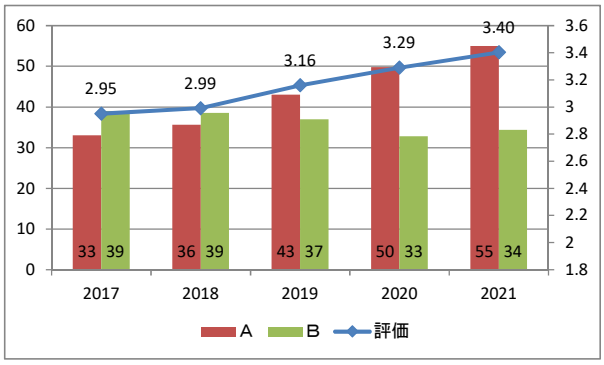
5 ルールやマナーについて指導を受けていますか



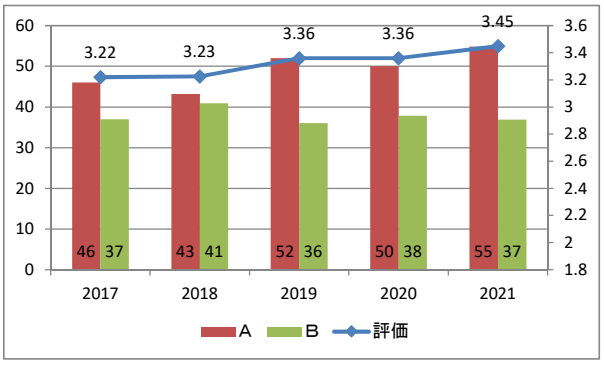
6 きめ細かな進路指導が行われていると感じますか



7 クラブ活動を学校全体で支援していると思いますか



8 学校行事に対して学校は支援していると思いますか

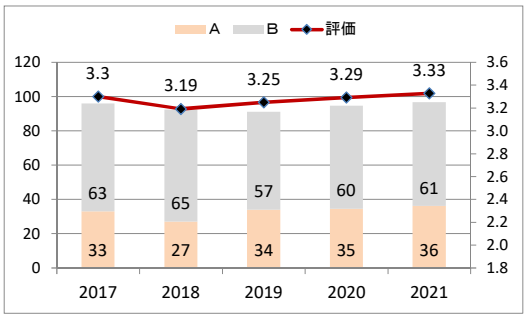


※縦軸について、右側は評価平均値、左側はA･Bの割合（%）を示す。
評価平均値は、アンケート回答のA（そう思う）を4、B（どちらかといえばそう思う）を3、C（どちらかといえばそう思わない）を2、D（そう思わない）を1として、以下の式により算出したもの。
{4×（Aの回答数）＋3×（Bの回答数）＋2×（Cの回答数）＋1×（Dの回答数）}÷（回答総数）＝評価平均値

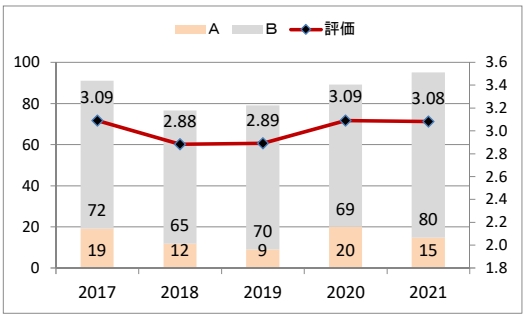
「学校生活の満足度」の推移 （2017年～2021年）

【グラフ ⑤】

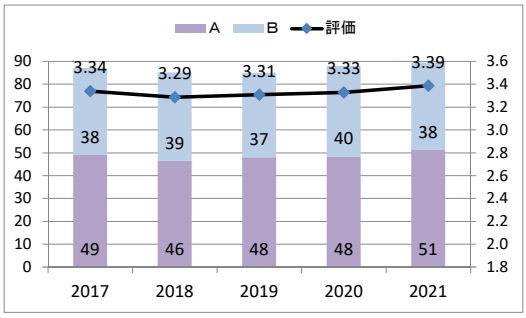
1 本校の生徒は充実した学校生活を楽しんでいる（教員組織）



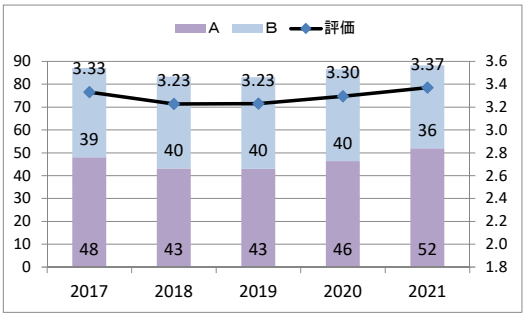
2 本校に入学した生徒・保護者の満足度は高い（教員組織）



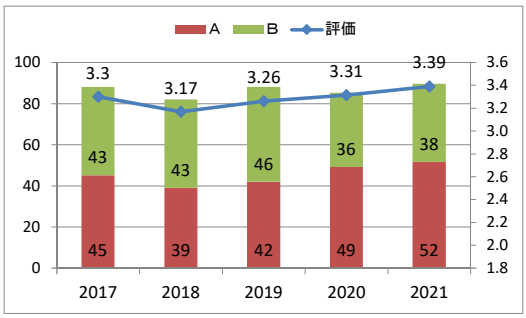
3 生き生きとした学校生活を送っているか（高校保護者対象）



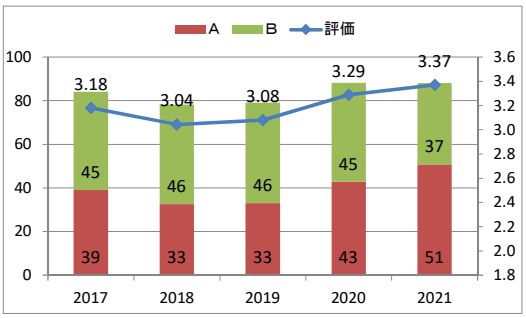
4 本校に入学させて良かったと思われるか（高校保護者対象）



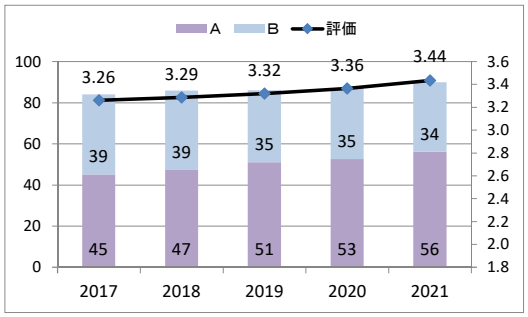
5 生き生きとした学校生活を送っているか（中学校保護者対象）



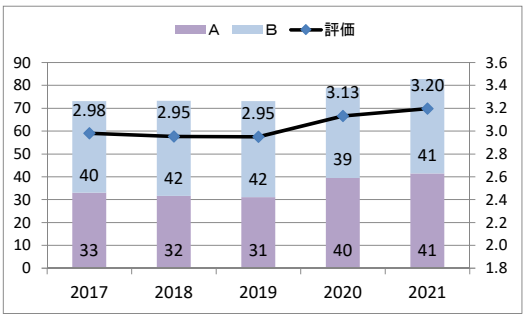
6 本校に入学させてよかったと思われるか（中学校保護者対象）



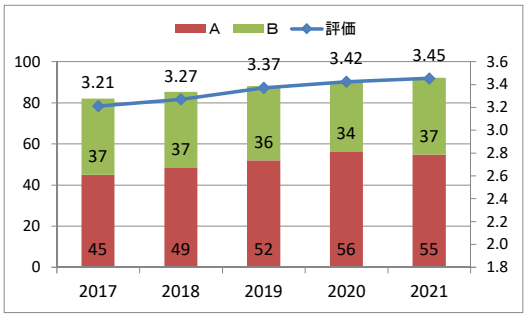
7 学校生活は楽しいと感じているか（高校生対象）



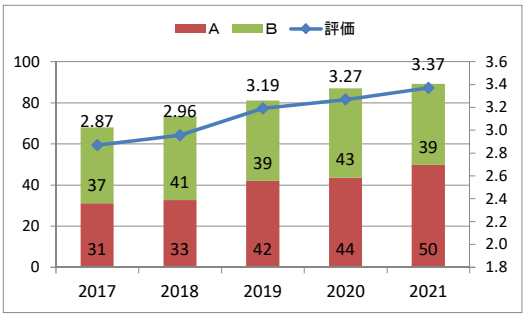
8 本校に入学してよかったと感じているか（高校生対象）



9 学校生活は楽しいと感じているか（中学生対象）



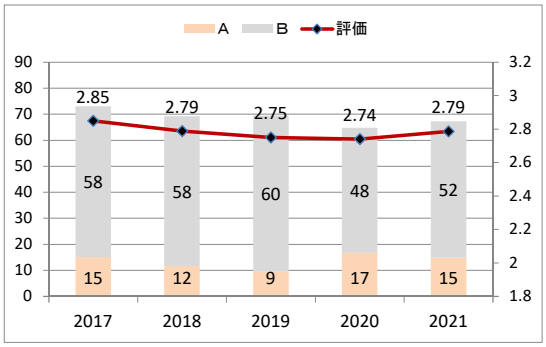
10 本校に入学してよかったと感じているか（中学生対象）



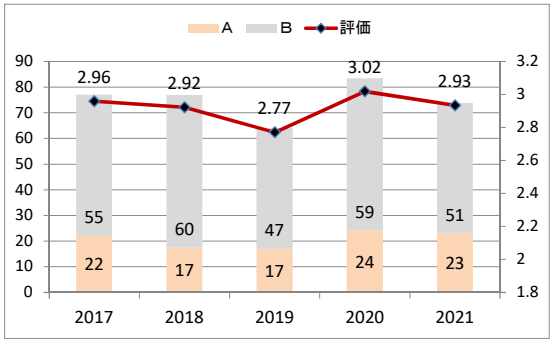
※縦軸について、右側は評価平均値、左側はA･Bの割合（%）を示す。
　評価平均値は、アンケート回答のA（そう思う）を4、B（どちらかといえばそう思う）を3、C（どちらかといえばそう思わない）を2、D（そう思わない）を1として、以下の式により算出したもの。
　{4×（Aの回答数）＋3×（Bの回答数）＋2×（Cの回答数）＋1×（Dの回答数）}÷（回答総数）＝評価平均値

「教育方針・教育目標」「併設校としての使命」の推移 （2017年～2021年）　【グラフ⑥】

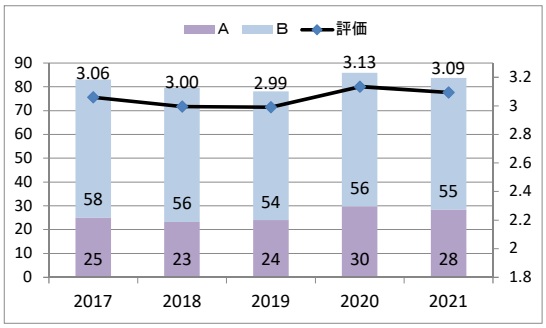
1. 教育方針・教育目標は関係者に浸透していると思うか。（教員組織）



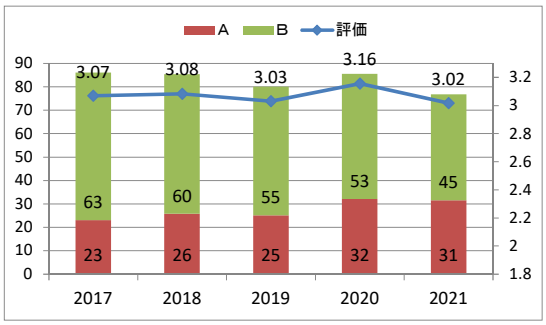
2 関大と合併した意義と併設校としての使命が浸透しているか。（教員組織）



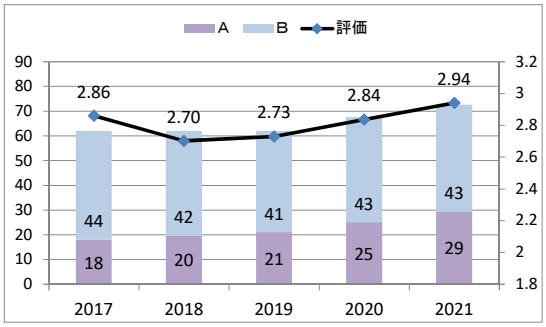
3 本校の教育方針を理解していますか。（高校保護者対象）



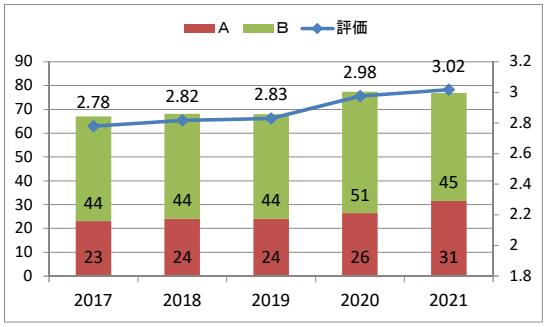
4 本校の教育方針を理解していますか。（中学校保護者対象）



5 本校の教育方針を理解していますか。（高校生対象）



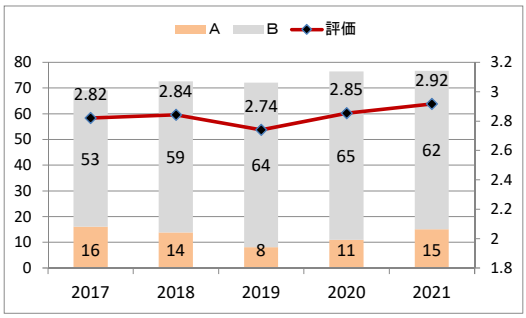
6 本校の教育方針を理解していますか。（中学生対象）



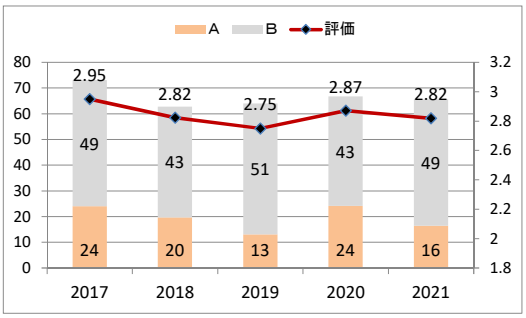
縦軸について、右側は評価平均値、左側はA・Bの割合（%）を示す。
評価平均値は、アンケート回答のA（そう思う）を4、B（どちらかといえばそう思う）を3、C（どちらかといえばそう思わない）を2、D（そう思わない）を1として、以下の式により算出したもの。
[4×（Aの回答数）＋3×（Bの回答数）＋2×（Cの回答数）＋1×（Dの回答数）]÷（回答総数）＝評価平均値

「学力向上の組織的な取組」と「スローラーナーへの対応」の推移 （2017年～2021年 【グラフ ⑦】

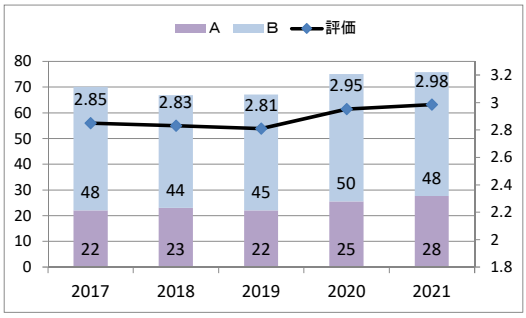
1 学力向上における組織的な取組（教員組織）



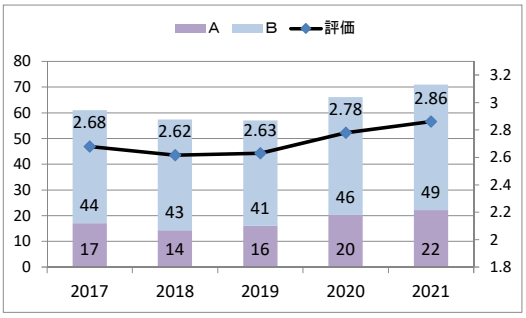
2 スローラーナーへの対応（教員組織）



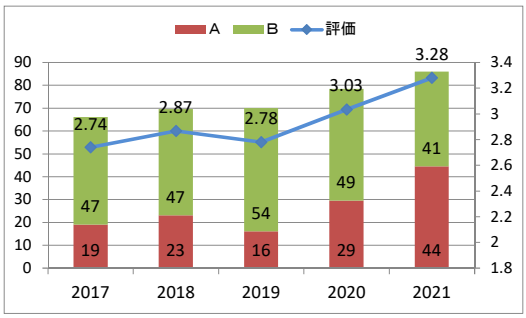
3 学力向上における組織的な取組（高校保護者対象）



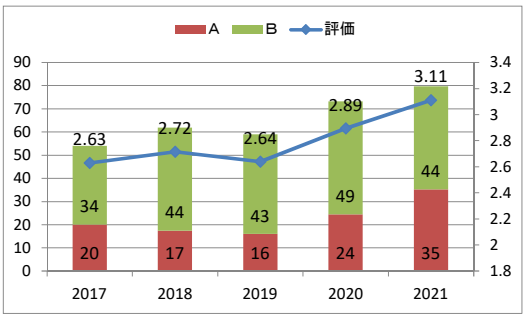
4 スローラーナーへの対応（高校保護者対象）



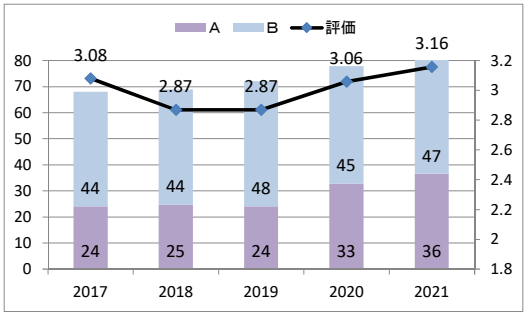
5 学力向上における組織的な取組（中学校保護者対象）



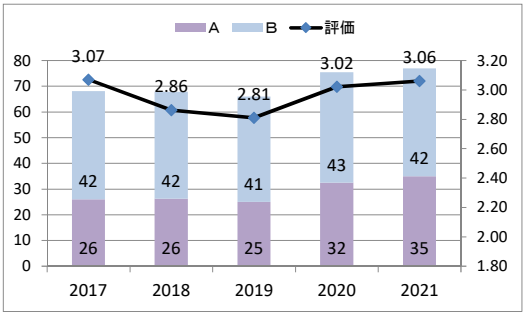
6 スローラーナーへの対応（中学校保護者対象）



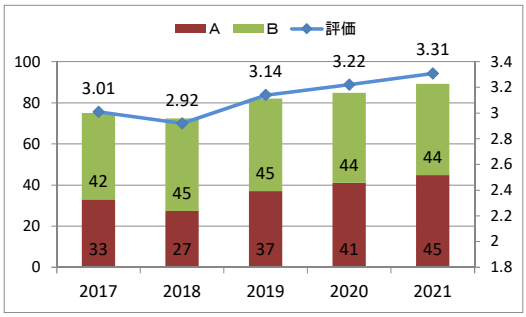
7 自分の学力は向上していると感じているか（高校生対象）



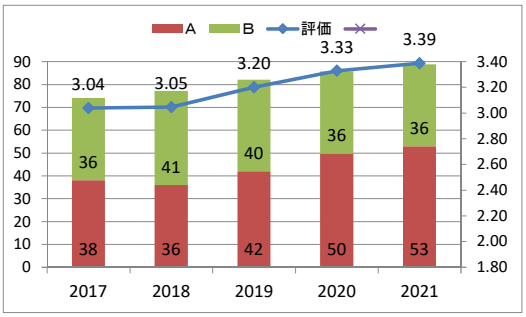
8 適切なフォローをしてもらっていると感じているか（高校生対象）



9 自分の学力は向上していると感じているか（中学生対象）



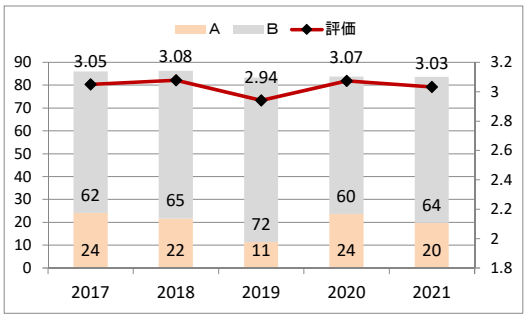
10 適切なフォローをしてもらっていると感じているか（中学生対象）



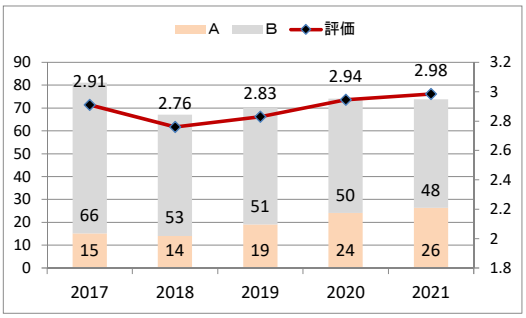
縦軸について、右側は評価平均値、左側はA･Bの割合（%）を示す。
評価平均値は、アンケート回答のA（そう思う）を4、B（どちらかといえばそう思う）を3、C（どちらかといえばそう思わない）を2、D（そう思わない）を1として、以下の式により算出したもの。
{4×（Aの回答数）＋3×（Bの回答数）＋2×（Cの回答数）＋1×（Dの回答数）}÷（回答総数）＝評価平均値

「保護者との連携」（学習と生徒指導に関して）の推移　（2017年～2021年）　【グラフ ⑧】

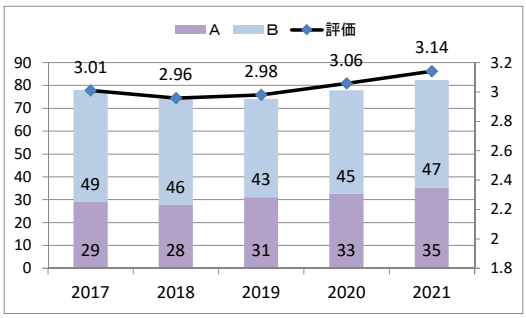
1　学習に関する保護者との連携（教員組織）



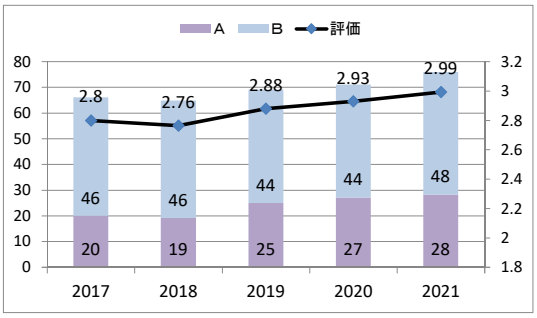
2　生徒指導における保護者との連携（教員組織）



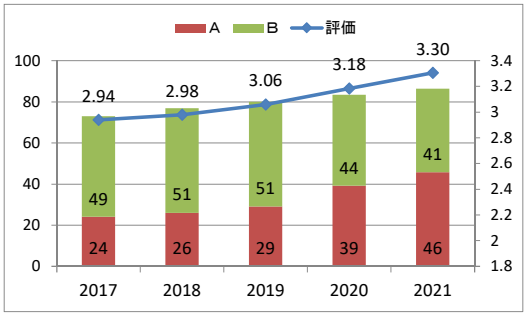
3　学習に関する保護者との連携（高校保護者対象）



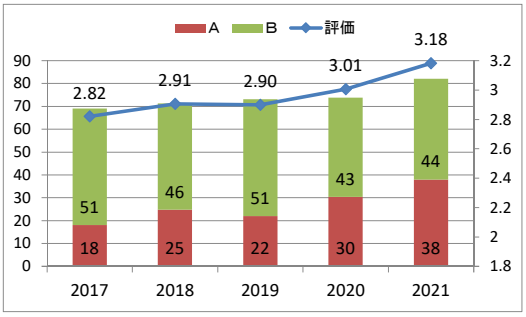
4　生徒指導における保護者との連携（高校保護者対象）



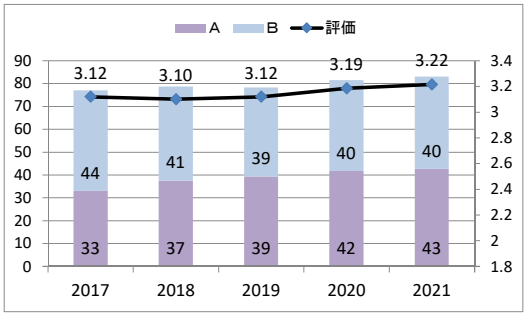
5　学習に関する保護者との連携（中学生保護者対象）



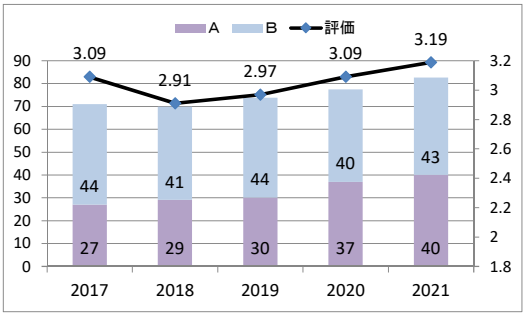
6　生徒指導における保護者との連携（中学校保護者対象）



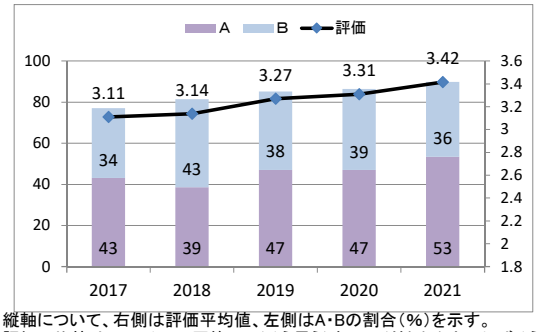
7　学習に関する保護者との連携（高校生対象）



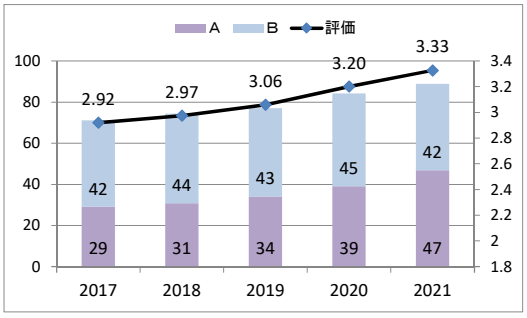
8　生徒指導における保護者との連携（高校生対象）



9　学習に関する保護者との連携（中学生対象）



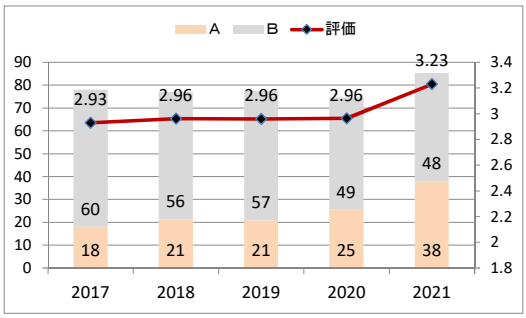
10　生徒指導における保護者との連携（中学生対象）



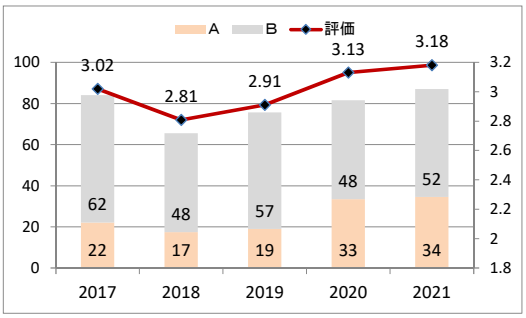
縦軸について、右側は評価平均値、左側はA･Bの割合（%）を示す。
評価平均値は、アンケート回答のA（そう思う）を4、B（どちらかといえばそう思う）を3、C（どちらかといえばそう思わない）を2、D（そう思わない）を1として、以下の式により算出したもの。
{4×（Aの回答数）＋3×（Bの回答数）＋2×（Cの回答数）＋1×（Dの回答数）}÷（回答総数）＝評価平均値

「社会規範の理解」と「生徒指導方針の一貫性」の推移 （2017年～2021年） 【グラフ ⑨】

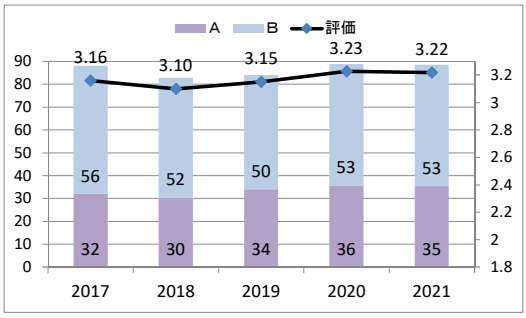
1 社会規範の理解とモラルの醸成（教員組織）



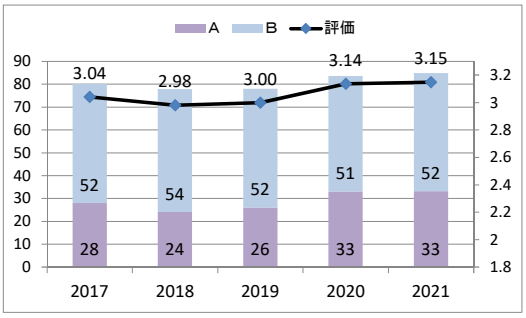
2 生徒指導方針の一貫性（教員組織）



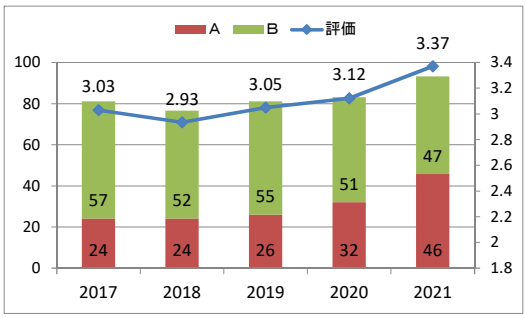
3 社会規範の理解とモラルの醸成（高校保護者対象）



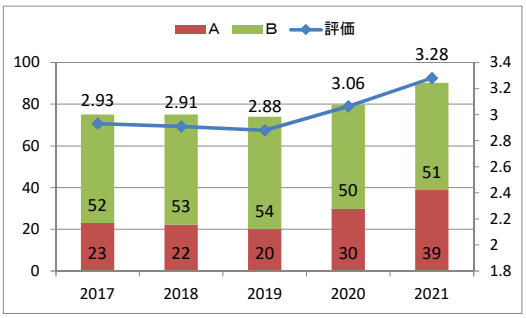
4 生徒指導方針の一貫性（高校保護者対象）



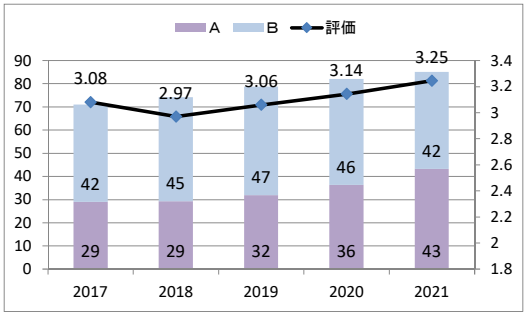
5 社会規範の理解とモラルの醸成（中学校保護者対象）



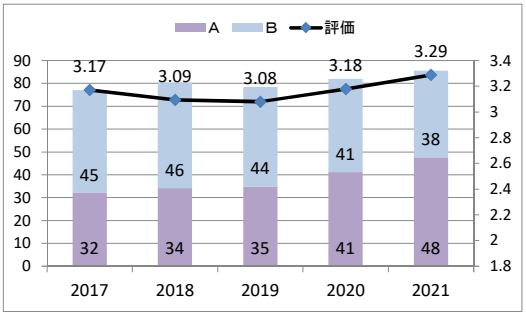
6 生徒指導方針の一貫性（中学校保護者対象）



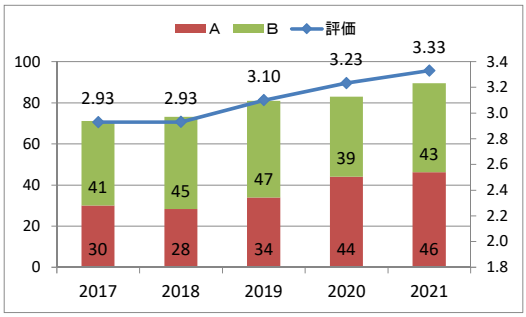
7 社会規範の理解とモラルの醸成（高校生対象）



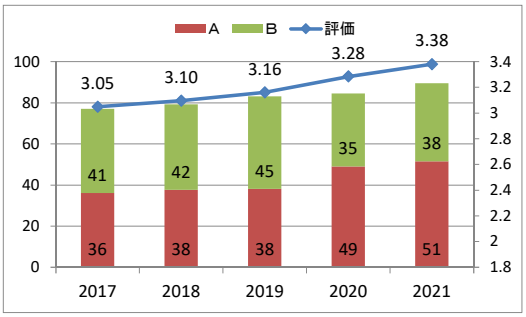
8 生徒指導方針の一貫性（高校生対象）



9 社会規範の理解とモラルの醸成（中学生対象）



10 生徒指導方針の一貫性（中学生対象）

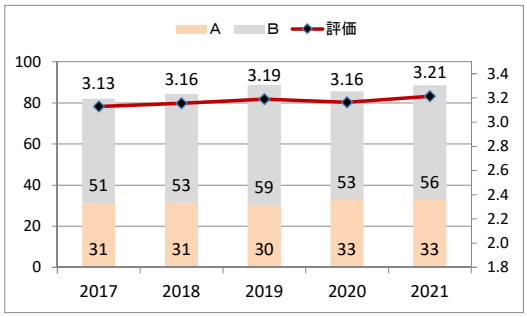


※縦軸について、右側は評価平均値、左側はA･Bの割合（%）を示す。
　評価平均値は、アンケート回答のA（そう思う）を4、B（どちらかといえばそう思う）を3、C（どちらかといえばそう思わない）を2、D（そう思わない）を1として、以下の式により算出したもの。
　{4×（Aの回答数）＋3×（Bの回答数）＋2×（Cの回答数）＋1×（Dの回答数）}÷（回答総数）＝評価平均値

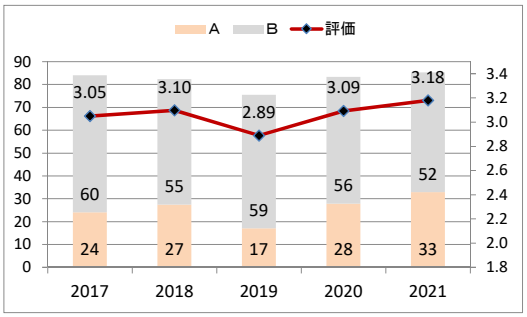
「進路指導体制」の推移 （2017年～2021年）

【グラフ ⑩】

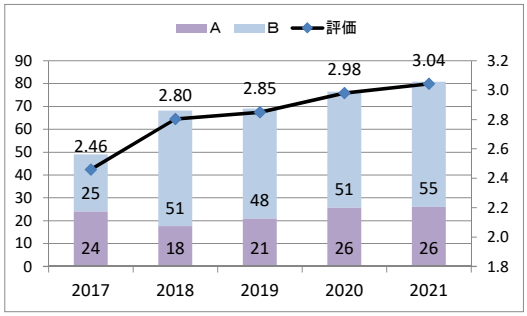
1 生徒・保護者へのカウンセリングの体制を整えている（教員組織）



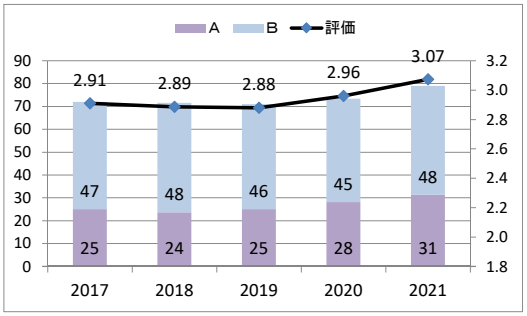
2 進路を実現させる指導を組織的に行える体制である（教員組織）



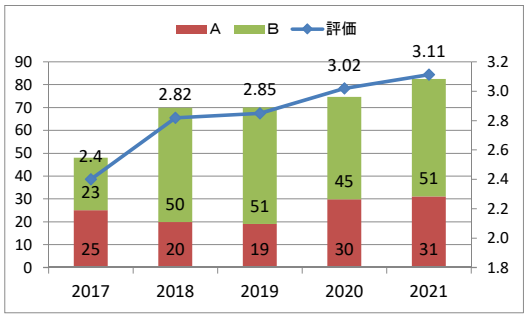
3 カウンセリングを受けられることを知っていますか（高校保護者対象）



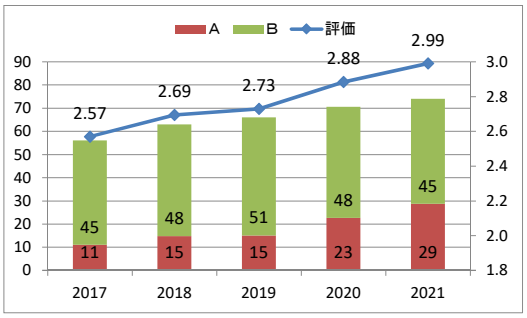
4 進路実現の為きめ細かな指導を行っていますか（高校保護者対象



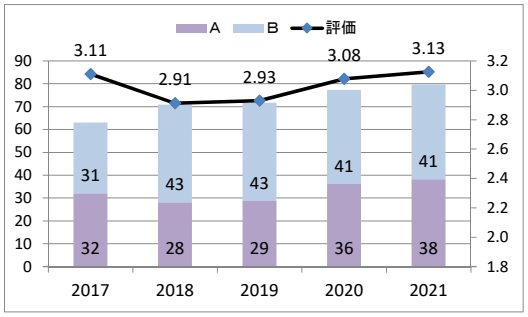
5 カウンセリングを受けられることを知っていますか（中学校保護者対象）



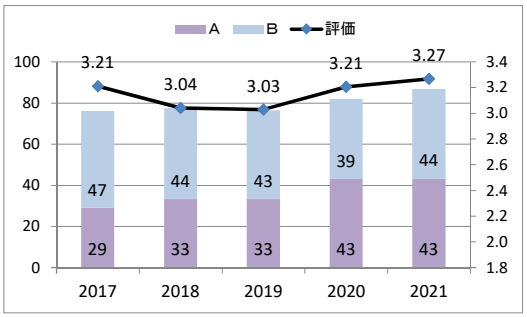
6 進路実現の為きめ細かな指導を行っていますか（中学校保護者対



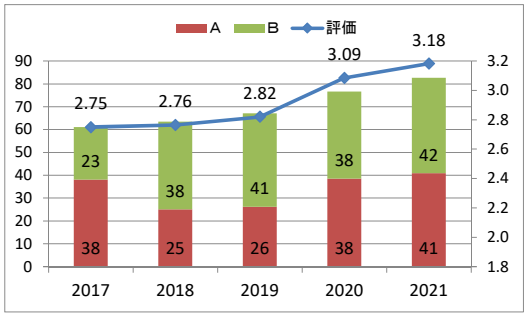
7 カウンセリングを受けられることを知っていますか（高校生対象）



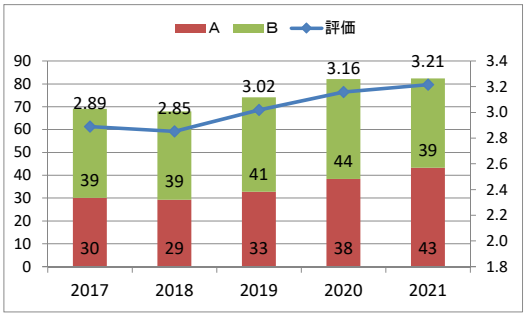
8 進路実現の為きめ細かな指導を行っていますか（高校生対象）



9 カウンセリングを受けられることを知っていますか（中学生対象）



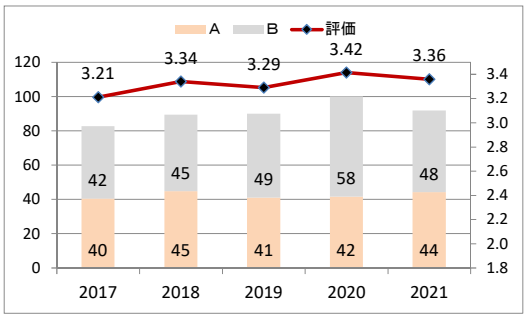
10 進路実現の為きめ細かな指導を行っていますか（中学生対象）



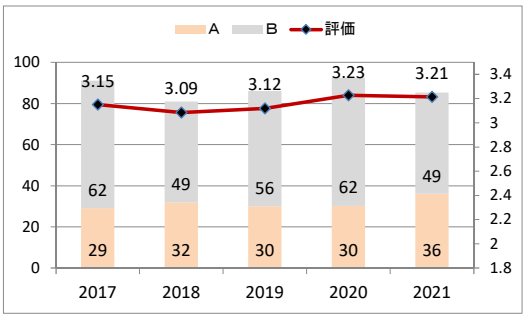
縦軸について、右側は評価平均値、左側はA･Bの割合（%）を示す。
評価平均値は、アンケート回答のA（そう思う）を4、B（どちらかといえばそう思う）を3、C（どちらかといえばそう思わない）を2、D（そう思わない）を1として、以下の式により算出したもの。
{4×（Aの回答数）＋3×（Bの回答数）＋2×（Cの回答数）＋1×（Dの回答数）}÷（回答総数）＝評価平均値

「部活動支援」と「学校行事指導体制」の推移 （2017年～2021年）　【グラフ ⑪】

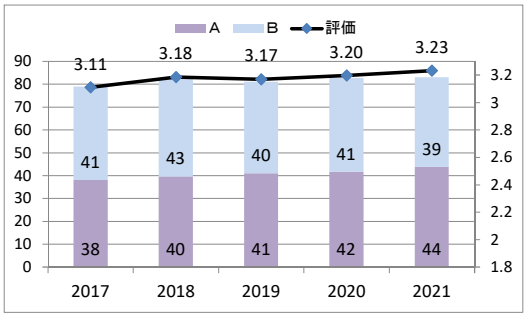
1 部活動を通して生徒が成長できるよう学校全体で支援しているか（教員組織）



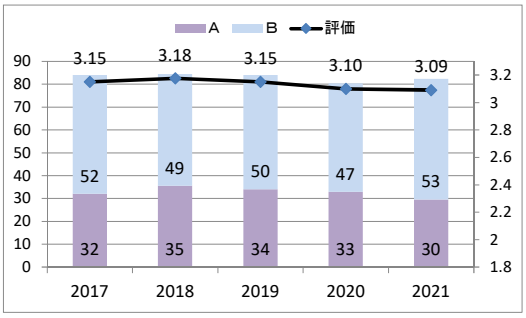
2 学校行事に対して学校と保護者が協力して支援しているか（教員組織）



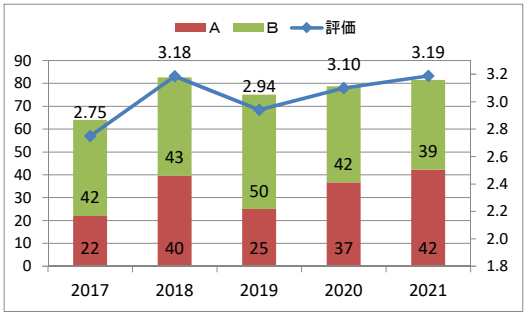
3 部活動を通して生徒が成長できるよう学校全体で支援している（高校保護者対象）



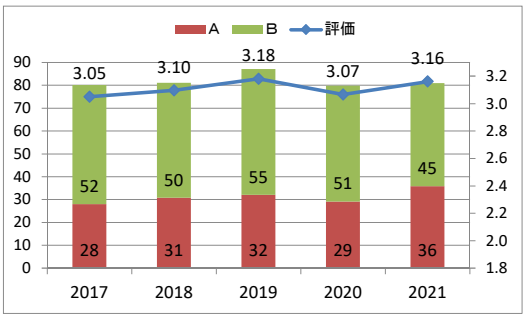
4 学校行事に対して学校と保護者が協力して支援していると思うか（高校保護者対象）



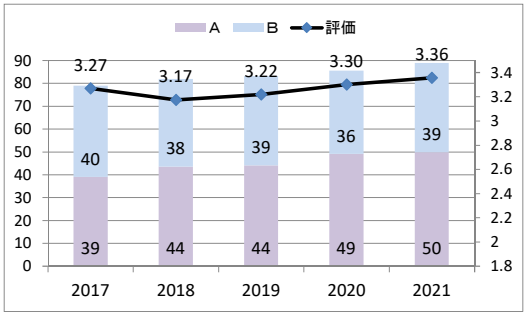
5 部活動を通して生徒が成長できるよう学校全体で支援しているか（中学校保護者対象）



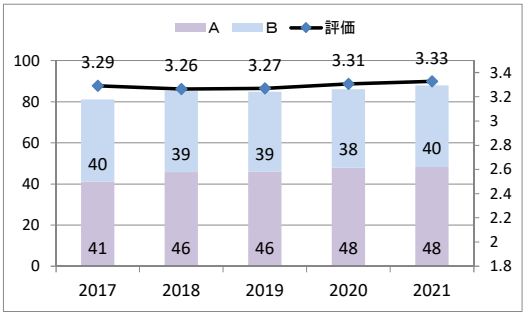
6 学校行事に対して学校と保護者が協力して支援していると思うか（中学校保護者対象）



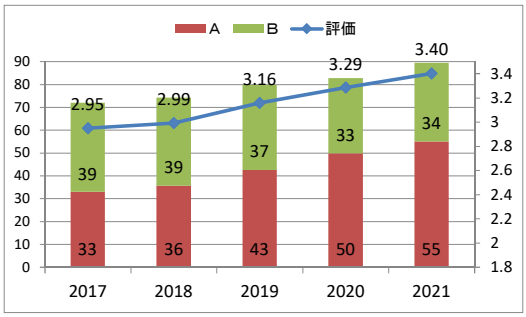
7 部活動を通して生徒が成長できるよう学校全体で支援していると思うか（高校生対象）



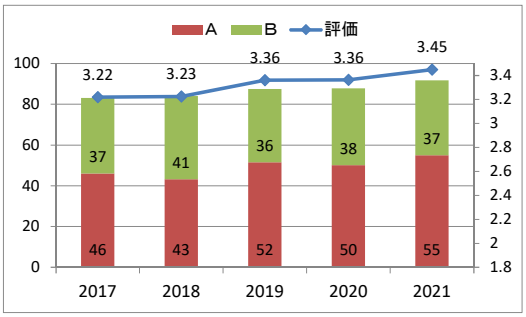
8 学校行事に生徒が積極的に活動できるよう配慮していると思うか（高校生対象）



9 部活動を通して生徒が成長できるよう学校全体で支援していると思うか（中学生対象）



10 学校行事に生徒が積極的に活動できるよう配慮していると思うか（中学生対象）



縦軸について、右側は評価平均値、左側はA･Bの割合（%）を示す。
評価平均値は、アンケート回答のA（そう思う）を4、B（どちらかといえばそう思う）を3、C（どちらかといえばそう思わない）を2、D（そう思わない）を1として、以下の式により算出したもの。
{4×（Aの回答数）＋3×（Bの回答数）＋2×（Cの回答数）＋1×（Dの回答数）}÷（回答総数）＝評価平均値

2021年度 学校評価 自己点検・評価項目 ―組 織― 関西大学北陽高等学校・中学校 【資料1-1】

分類	大項目		No.	小項目	設問 30項目	評価	A	B	C	D
学校全般		○	1		本校の生徒は充実した学校生活を楽しんでいる。	3.33	36.1	60.7	3.3	0.0
		○	2		本校に入学した生徒・保護者の満足度は高い。	3.08	14.8	80.3	3.3	1.6
学校運営	私学の独自性	○	3	教育方針・教育目標	建学の精神に基づく教育方針・教育目標は教職員・保護者などの関係者によく浸透している。	2.79	14.8	52.5	29.5	3.3
			4	合併の精神・併設校としての使命	関西大学と合併した意義や併設校としての使命が教職員に浸透している。	2.93	23.0	50.8	23.0	3.3
	教職員間連携		5	管理職と教員、教職員同士の連携	管理職と教員あるいは教職員同士の間で信頼関係を築く努力がなされている。	2.64	11.5	50.8	27.9	9.8
			6	ミドルマネジメントによる組織運営	主任（学年・分掌・教科）がミドルアップとミドルダウンに努め、組織運営が活性化している。	2.74	16.4	50.8	23.0	9.8
		○	7	会議の有効性	職員会議や学年会議、教科会議などが効率よく機能的に運営されている。	2.77	23.0	39.3	29.5	8.2
			8	ハラスメントに関する研修	安心･安全な職場環境を形成するために、ハラスメントに対しての注意喚起および定期的な研修が行われている。	2.66	13.1	45.9	34.4	6.6
	情報公開		9	ホームページの活用	本校のホームページは、生徒や保護者にとって知りたい情報を有効に公開している。	2.85	18.0	54.1	23.0	4.9
	危機管理		10	初動対応	事故、事件、災害に対する初動対応が的確に行われる組織になっている。	2.95	18.0	62.3	16.4	3.3
		○	11	避難訓練や安全対策	警察や消防署と連携し、避難訓練や安全講習会を開くなどの安全対策を講じている。	3.33	45.9	42.6	9.8	1.6
	地域との連携		12	地域連携の推進	自治会や近隣地域に対して、本校の教育活動に理解を得るための取組が行われている。	2.62	16.4	36.1	41.0	6.6
教育内容	知　育	○	13	学力向上における組織的な取組	学力向上のための、組織的な取組を行っている。	2.92	15.0	61.7	23.3	0.0
		○	14	スローラーナーへの対応	学力不足生徒へのフォローのために補習授業や個人指導を行っている。	2.82	16.4	49.2	34.4	0.0
		○	15	保護者との連携	学習状況の説明や家庭学習の把握のため、保護者との懇談や連絡を密に行っている。	3.03	19.7	63.9	16.4	0.0
	徳　育	○	16	社会規範の理解とモラルの醸成	生徒に学校や社会のルールを遵守させ、マナーやモラルを向上させる取組を行っている。	3.23	37.7	47.5	14.8	0.0
		○	17	いじめへの対応	いじめの実態把握に努め、生徒が発する危険信号等を見逃さないようにして早期発見に努める体制が整い、学校組織として共有できている。	3.25	37.7	50.8	9.8	1.6
			18	ボランティア活動の推進	生徒に地域とのつながりを意識させ、清掃活動などの地域貢献が行われている。	3.02	26.2	50.8	21.3	1.6
	体　育	○	19	健康な身体づくり	基本的生活習慣や健康な身体づくり、基礎体力づくりの指導を行っている。	3.28	39.3	49.2	11.5	0.0
	人権教育		20	人権に対する指導体制	他者の人権を尊重する教育が計画的に行われている。	3.20	34.4	50.8	14.8	0.0
	学校間連携	○	21	中高大連携事業の実践	高大あるいは中大、中高の学校同士の教育連携が積極的に行われている。	3.44	57.4	31.1	9.8	1.6
生徒支援	生徒指導		22	指導方針の一貫性	生徒指導が学校としての明確な方針のもとに行われている。	3.18	34.4	52.5	9.8	3.3
			23	組織的な指導体制・家庭との連携	生徒指導を組織的に行う体制ができており、教員間の意識の統一や家庭との連携も行われている。	2.98	26.2	47.5	24.6	1.6
	カウンセリング	○	24	カウンセリング体制	生徒・保護者へのカウンセリングの体制を整えている。	3.21	32.8	55.7	11.5	0.0
	進路指導		25	進路指導体制	一人ひとりの進路を実現させる指導を、係を中心として組織的に行える体制ができている。	3.18	32.8	52.5	14.8	0.0
	生徒会活動		26	部活動支援状況	部活動を通じて生徒が成長できるよう学校全体で支援している。	3.36	44.3	47.5	8.2	0.0
			27	学校行事指導体制	学校行事を通じて生徒が主体的に活動できるよう、学校と保護者が協力して支援している。	3.21	36.1	49.2	14.8	0.0
教員研修資質向上	教員の研修活動	○	28	校内外における教員研修	本校は、教員の資質向上、生徒の知的好奇心を喚起する授業構成のための校内外の研修体制が充実している。	2.97	21.3	54.1	24.6	0.0
			29	教員相互の資質向上体制	教員間で授業を見学し合い、互いに切磋琢磨して授業力を向上させる取組をしている。	2.56	11.5	41.0	39.3	8.2
その他	国際化		30	国際理解	ALTによる授業、異文化交流あるいは語学研修等により、国際理解を深める体制がある。	2.70	21.3	32.8	41.0	4.9

注：○は併設校共通項目　　A～Dの数字は全体に占める割合（%）　「評価」は評価基準（4段階）の平均

評価基準　A（4）：そう思う　B（3）：どちらかといえばそう思う　C（2）：どちらかといえばそう思わない　D（1）：そう思わない　　3.01

2021年度　教員個人の自己評価　点検・評価項目　　―個　人―　　関西大学北陽高等学校・中学校　【資料1-2】

分類	大項目	No.		設　　問　　25項目	評価	A	B	C	D
学校運営	私学の独自性	1	教育方針・教育目標	建学の精神、関大北陽の中期ビジョン、教育方針をしっかり理解をしている。	3.11	29.5	54.1	14.8	1.6
		2	併設校としての使命感	関西大学の併設校としての使命を理解した上で、生徒の指導に携わっている。	3.43	50.8	42.6	4.9	1.6
	教育課程	3	学習指導要領と年間指導計画	教科ごとに作成をしたシラバスに沿って授業を行なっている。	3.49	54.1	41.0	4.9	0.0
	教職員間連携	4	教職員間の連携	教員同士あるいは教員と職員間の相互理解と信頼関係づくりに努めている。	3.26	45.9	36.1	16.4	1.6
		5	会議の有効性	職員会議や学年会議、教科会議などが効率よく機能的に運営されるよう努めている。	3.25	39.3	49.2	8.2	3.3
	危機管理	6	初動対応および報告・連絡・相談	事故、事件、災害に対して的確な初動対応やタイムリーな報告・連絡・相談を行なっている。	3.49	52.5	44.3	3.3	0.0
	分掌と学年	7	分掌における役割	分掌における自分の役割と任務を確実に遂行し、学校運営の改善を図っている。	3.41	49.2	42.6	8.2	0.0
		8	学年における役割	学年における自分の役割と任務を確実に遂行し、学校運営の改善を図っている。	3.33	42.6	49.2	6.6	1.6
教育内容	知　育	9	基礎学力の習得	基礎基本（基礎学力）を身につけさせるために、重要項目の反復練習を十分に行っている。	3.23	37.7	49.2	11.5	1.6
		10	学力向上における組織的な取組	学力向上のために学年、教科として共通して取り組むべきところは協調しながら取り組んでいる。	3.38	45.9	45.9	8.2	0.0
		11	模試や入試問題の活用	模擬試験や大学入試などの問題分析を行い、授業や講習等に反映させている。	3.02	36.1	36.1	21.3	6.6
		12	スローラーナーへの対応	学力不足生徒へのフォローのために補習授業や個人指導を精力的に行っている。	2.70	19.7	37.7	36.1	6.6
		13	授業評価の活用	生徒の教員に対する授業評価を分析し、反省すべき点を把握し、今後の改善を図ろうとしている。	3.10	34.4	44.3	18.0	3.3
		14	保護者との連携	生徒の成績の伸びや学習状況に関して、保護者との懇談や連絡を密に行っている。	2.90	24.6	45.9	24.6	4.9
	徳　育	15	社会規範の理解とモラルの醸成	生徒に対してマナーやモラルの大切さを喚起させ、自らの道徳心を高める努力をしている。	3.31	44.3	42.6	13.1	0.0
	体　育	16	健康な身体づくり	常に生徒の健康管理に気を配り、心身ともに健康な体づくりを促している。	3.39	52.5	36.1	9.8	1.6
	人権教育	17	人権に対する指導体制	生徒の人権を尊重し、対等の互恵関係を築く努力をしている。	3.34	45.9	44.3	8.2	1.6
	学校間連携	18	中高大連携事業の実践	関西大学との教育連携に対しての理解を深め、積極的に協力をしている。	3.28	41.0	47.5	9.8	1.6
生徒指導と支援	生徒指導	19	指導方針の一貫性	学校としての生徒指導の方針に従い、個々の生徒に対してしっかりと指導管理ができている。	3.25	37.7	50.8	9.8	1.6
		20	家庭との連携状況	生徒指導において、家庭との連携を密にし、連絡を取り合っている。	3.13	32.8	49.2	16.4	1.6
	進路指導	21	進路指導体制	生徒一人ひとりの個性と能力に合った進路指導を、進路指導係と連携して行っている。	3.11	34.4	45.9	16.4	3.3
	生徒会指導	22	部活動支援状況	生徒が心身ともに成長できるよう、クラブ活動を通して計画的に指導支援をしている。	3.30	42.6	45.9	9.8	1.6
		23	学校行事指導体制	学校行事や生徒会活動において、生徒同士が協力して主体的に活動できるよう指導支援をしている。	3.30	41.0	49.2	8.2	1.6
教員の資質向上	教員研修	24	教員研修体制	学校内外の研修会に積極的に参加をし、教員としての資質を向上させるよう取り組んでいる。	2.90	27.9	37.7	31.1	3.3
		25	教員相互の援助体制	研究授業や授業見学を通して、教員同士で互いに切磋琢磨し、授業改善を図っている。	2.92	27.9	41.0	26.2	4.9
その他	ICT教育	26	ICT教育の推進	iPadやロイロノートなどのICTツールを有効に活用している。	3.11	45.9	29.5	14.8	9.8

注：〇は併設校共通項目　　A～Dの数字は全体に占める割合（%）　「評価」は評価基準（4段階）の平均

評価基準　　A（4）：そう思う　B（3）：どちらかといえばそう思う　C（2）：どちらかといえばそう思わない　D（1）：そう思わない

3.21

学校評価（教員対象）　―「組織面の自己評価」の年次比較（過去4カ年）―　【資料1-3】

分類	大項目	小項目		NO.	2018年度 評価	2018年度 A	2018年度 B	2018年度 C	2018年度 D	2019年度 評価	2019年度 A	2019年度 B	2019年度 C	2019年度 D	2020年度 評価	2020年度 A	2020年度 B	2020年度 C	2020年度 D	2021年度 評価	2021年度 A	2021年度 B	2021年度 C	2021年度 D
					教員 組織面の自己評価																			
学校全般		学園生活	○	1	3.19	26.9	65.4	7.7	0.0	3.25	34.0	56.6	9.4	0.0	3.29	34.5	60.0	5.5	0.0	3.33	36.1	60.7	3.3	0.0
			○	2	2.88	11.8	64.7	23.5	0.0	2.89	9.4	69.8	20.8	0.0	3.09	20.0	69.1	10.9	0.0	3.08	14.8	80.3	3.3	1.6
学校運営	私学の独自性	教育方針・教育目標	○	3	2.79	11.5	57.7	28.8	1.9	2.75	9.4	60.4	26.4	3.8	2.74	16.7	48.1	27.8	7.4	2.79	14.8	52.5	29.5	3.3
		合併の精神・併設校としての使命		4	2.92	17.3	59.6	21.2	1.9	2.77	17.0	47.2	32.1	3.8	3.02	24.1	59.3	11.1	5.6	2.93	23.0	50.8	23.0	3.3
	教育課程	学習指導要領と年間指導計画																						
	教職員間連携	管理職と教員、教職員同士の間の連携		5	2.79	19.2	44.2	32.7	3.8	2.77	18.9	45.3	30.2	5.7	2.76	14.8	50.0	31.5	3.7	2.64	11.5	50.8	27.9	9.8
		ミドルマネジメントの組織運営		6	2.98	23.1	53.8	21.2	1.9	2.83	18.9	52.8	20.8	7.5	2.81	22.2	48.1	18.5	11.1	2.74	16.4	50.8	23.0	9.8
		会議の有効性	○	7	2.83	21.2	48.1	23.1	7.7	2.85	23.1	48.1	19.2	9.6	2.87	23.6	47.3	21.8	7.3	2.77	23.0	39.3	29.5	8.2
		ハラスメントに関する研修		8	2.71	9.8	54.9	31.4	3.9	2.75	20.8	43.4	26.4	9.4	2.65	9.3	50.0	37.0	3.7	2.66	13.1	45.9	34.4	6.6
	情報公開	ホームページの活用	○	9	2.63	7.8	56.9	25.5	9.8	2.75	15.1	49.1	32.1	3.8	2.81	14.8	55.6	25.9	3.7	2.85	18.0	54.1	23.0	4.9
	危機管理	初動対応		10	2.61	15.7	41.2	31.4	11.8	2.62	15.1	41.5	34.0	9.4	2.78	22.2	44.4	22.2	11.1	2.95	18.0	62.3	16.4	3.3
		避難訓練や安全対策	○	11	3.23	38.5	50.0	7.7	3.8	3.17	35.8	47.2	15.1	1.9	3.40	50.9	38.2	10.9	0.0	3.33	45.9	42.6	9.8	1.6
	地域との連携	地域連携の推進		12	2.53	11.8	39.2	39.2	9.8	2.58	9.4	47.2	35.8	7.5	2.68	13.2	49.1	30.2	7.5	2.62	16.4	36.1	41.0	6.6
	分掌と学年	分掌における役割																						
		学年における役割																						
教育内容	知　育	基礎学力の習得																						
		学力向上における組織的な取組	○	13	2.84	13.7	58.8	25.5	2.0	2.74	7.5	64.2	22.6	5.7	2.85	10.9	65.5	21.8	1.8	2.92	15.0	61.7	23.3	0.0
		模試や入試問題の活用																						
		スローラーナーへの対応	○	14	2.82	19.6	43.1	37.3	0.0	2.75	13.2	50.9	34.0	1.9	2.87	24.1	42.6	29.6	3.7	2.82	16.4	49.2	34.4	0.0
		授業評価の活用																						
		保護者との連携	○	15	3.08	21.6	64.7	13.7	0.0	2.94	11.3	71.7	17.0	0.0	3.07	23.6	60.0	16.4	0.0	3.03	19.7	63.9	16.4	0.0
	徳　育	社会規範の理解とモラルの醸成	○	16	2.96	21.2	55.8	21.2	1.9	2.96	20.8	56.6	20.8	1.9	2.96	25.5	49.1	21.8	3.6	3.23	37.7	47.5	14.8	0.0
		いじめへの対応		17	3.02	19.2	65.4	13.5	1.9	3.06	22.6	62.3	13.2	1.9	3.22	36.4	50.9	10.9	1.8	3.25	37.7	50.8	9.8	1.6
		ボランティア活動の推進		18	3.18	37.3	47.1	11.8	3.9	2.89	30.2	34.0	30.2	5.7	2.91	27.8	42.6	22.2	7.4	3.02	26.2	50.8	21.3	1.6
	体　育	健康な身体づくり	○	19	3.18	27.5	62.7	9.8	0.0	3.30	39.6	50.9	9.4	0.0	3.35	38.2	58.2	3.6	0.0	3.28	39.3	49.2	11.5	0.0
	人権教育	人権に対する指導体制		20	3.00	25.5	51.0	21.6	2.0	3.02	22.6	60.4	13.2	3.8	3.04	24.1	59.3	13.0	3.7	3.20	34.4	50.8	14.8	0.0
	学校間連携	中高大連携事業の実践	○	21	3.06	41.2	29.4	23.5	5.9	3.13	32.1	49.1	18.9	0.0	3.05	30.9	47.3	18.2	3.6	3.44	57.4	31.1	9.8	1.6
生徒指導	生徒指導	指導方針の一貫性		22	2.81	17.3	48.1	32.7	1.9	2.91	18.9	56.6	20.8	3.8	3.13	33.3	48.1	16.7	1.9	3.18	34.4	52.5	9.8	3.3
		家庭との連携状況		23	2.76	13.7	52.9	29.4	3.9	2.83	18.9	50.9	24.5	5.7	2.94	24.1	50.0	22.2	3.7	2.98	26.2	47.5	24.6	1.64
		組織的な指導体制																						
生徒支援	カウンセリング	カウンセリング体制	○	24	3.16	31.4	52.9	15.7	0.0	3.19	30.2	58.5	11.3	0.0	3.16	32.7	52.7	12.7	1.8	3.21	32.8	55.7	11.5	0.0
	進路指導	進路指導体制		25	3.10	27.5	54.9	17.6	0.0	2.89	17.0	58.5	20.8	3.8	3.09	27.8	55.6	14.8	1.9	3.18	32.8	52.5	14.8	0.0
	生徒会活動	部活動支援状況		26	3.34	44.7	44.7	10.6	0.0	3.29	41.2	49.0	7.8	2.0	3.42	41.5	58.5	0.0	0.0	3.36	44.3	47.5	8.2	0.0
		学校行事指導体制		27	3.09	31.9	48.9	14.9	4.3	3.12	30.0	56.0	10.0	4.0	3.23	30.2	62.3	7.5	0.0	3.21	36.1	49.2	14.8	0.0
教員の資質向上	教員の研修活動	校内外における教員研修	○	28	2.79	19.1	46.8	27.7	6.4	2.67	13.7	43.1	39.2	3.9	2.57	9.3	46.3	37.0	7.4	2.97	21.3	54.1	24.6	0.0
		教員相互の資質向上体制		29	2.60	6.4	59.6	21.3	12.8	2.41	9.8	37.3	37.3	15.7	2.60	15.1	37.7	39.6	7.5	2.56	11.5	41.0	39.3	8.2
その他	国際化	国際理解		30	2.46	13.0	32.6	41.3	13.0	2.20	8.2	24.5	51.0	16.3	2.57	15.4	40.4	34.6	9.6	2.70	21.3	32.8	41.0	4.9
					2.91					2.88					2.96					3.01				

注：○は併設校共通項目　A～Dの数字は全体に占める割合（%）　「評価」は評価基準（4

評価基準について　A（4）：そう思う　B（3）：どちらかといえばそう思う　C（2）：どちらかといえばそう思わない　D（1）：そう思わない

学校評価（教員対象）　―「個人面の自己評価」の年次比較（過去4カ年）―　【資料1-4】

分類	大項目	小項目		教員 個人面の自己評価																			
				2018年度					2019年度					2020年度					2021年度				
				評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D
学校全般		学園生活																					
学校運営	私学の独自性	教育方針・教育目標	1	2.96	17.6	64.7	13.7	3.9	2.88	15.7	60.8	19.6	3.9	2.95	21.8	52.7	23.6	1.8	3.11	29.5	54.1	14.8	1.6
		合併の精神・併設校としての使命	2	3.31	39.2	52.9	7.8	0.0	3.24	31.4	60.8	7.8	0.0	3.24	38.2	50.9	7.3	3.6	3.43	50.8	42.6	4.9	1.6
	教育課程	学習指導要領と年間指導計画	3	3.22	39.2	43.1	17.6	0.0	3.39	49.0	41.2	9.8	0.0	3.35	41.8	50.9	7.3	0.0	3.49	54.1	41.0	4.9	0.0
	教職員間連携	教員間連携	4	3.08	25.5	58.8	13.7	2.0	3.06	24.0	58.0	18.0	0.0	3.27	38.2	52.7	7.3	1.8	3.26	45.9	36.1	16.4	1.6
		管理職と教員との連携																					
		会議の有効性	5	3.18	31.4	54.9	13.7	0.0	3.16	29.4	58.8	9.8	2.0	3.05	29.1	52.7	12.7	5.5	3.25	39.3	49.2	8.2	3.3
		ハラスメントに関する研修																					
	情報公開	ホームページの活用																					
	危機管理	初動対応	6	3.14	27.5	62.7	5.9	3.9	3.16	33.3	51.0	13.7	2.0	3.29	41.8	49.1	5.5	3.6	3.49	52.5	44.3	3.3	0.0
		避難訓練や安全対策																					
	地域との連携	地域連携の推進																					
	分掌と学年	分掌における役割	7	3.33	41.2	51.0	7.8	0.0	3.37	41.2	54.9	3.9	0.0	3.35	40.7	53.7	5.6	0.0	3.41	49.2	42.6	8.2	0.0
		学年における役割	8	3.16	32.0	56.0	8.0	4.0	3.14	23.5	68.6	5.9	2.0	3.27	40.0	50.9	5.5	3.6	3.33	42.6	49.2	6.6	1.6
教育内容	知　育	基礎学力の習得	9	3.08	27.5	54.9	15.7	2.0	3.10	27.5	56.9	13.7	2.0	3.11	27.3	56.4	16.4	0.0	3.23	37.7	49.2	11.5	1.6
		学力向上における組織的な取組	10	3.27	37.3	52.9	9.8	0.0	3.18	33.3	52.9	11.8	2.0	3.24	36.4	52.7	9.1	1.8	3.38	45.9	45.9	8.2	0.0
		模試や入試問題の活用	11	3.08	29.4	52.9	13.7	3.9	3.06	27.5	54.9	13.7	3.9	3.05	29.1	47.3	23.6	0.0	3.02	36.1	36.1	21.3	6.6
		スローラーナーへの対応	12	2.63	15.7	37.3	41.2	5.9	2.57	9.8	41.2	45.1	3.9	2.71	7.3	58.2	32.7	1.8	2.70	19.7	37.7	36.1	6.6
		授業評価の活用	13	2.94	25.5	47.1	23.5	3.9	2.88	17.6	52.9	29.4	0.0	3.00	23.6	54.5	20.0	1.8	3.10	34.4	44.3	18.0	3.3
		保護者との連携	14	2.82	17.6	51.0	27.5	3.9	2.98	25.5	49.0	23.5	2.0	3.02	25.5	54.5	16.4	3.6	2.90	24.6	45.9	24.6	4.9
	徳　育	社会規範の理解とモラルの醸成	15	3.29	45.1	39.2	15.7	0.0	3.16	27.5	62.7	7.8	2.0	3.33	41.8	49.1	9.1	0.0	3.31	44.3	42.6	13.1	0.0
		いじめへの対応																					
		ボランティア活動の推進																					
	体　育	健康な身体づくり	16	3.14	27.5	58.8	13.7	0.0	3.20	33.3	54.9	9.8	2.0	3.29	41.8	45.5	12.7	0.0	3.39	52.5	36.1	9.8	1.6
	人権教育	人権に対する指導体制	17	3.14	33.3	49.0	15.7	2.0	3.14	27.5	60.8	9.8	2.0	3.31	41.8	49.1	7.3	1.8	3.34	45.9	44.3	8.2	1.6
	学校間連携	中高大連携事業の実践	18	3.10	33.3	47.1	15.7	3.9	3.06	23.5	60.8	13.7	2.0	3.25	36.4	54.5	7.3	1.8	3.28	41.0	47.5	9.8	1.6
生徒指導	生徒指導	指導方針の一貫性	19	3.27	33.3	62.7	2.0	2.0	3.20	27.5	66.7	3.9	2.0	3.33	41.8	50.9	5.5	1.8	3.25	37.7	50.8	9.8	1.6
		家庭との連携状況	20	3.16	29.4	58.8	9.8	2.0	3.04	19.6	66.7	11.8	2.0	3.16	34.5	49.1	14.5	1.8	3.13	32.8	49.2	16.4	1.6
		組織的な指導体制																					
生徒支援	カウンセリング	カウンセリング体制																					
	進路指導	進路指導体制	21	3.14	27.5	58.8	13.7	0.0	2.96	21.6	58.8	13.7	5.9	3.25	36.4	52.7	10.9	0.0	3.11	34.4	45.9	16.4	3.3
	生徒会活動	部活動支援状況	22	3.25	43.1	41.2	13.7	2.0	3.24	41.2	43.1	13.7	2.0	3.35	49.1	38.2	10.9	1.8	3.30	42.6	45.9	9.8	1.6
		学校行事指導体制	23	3.33	41.2	52.9	3.9	2.0	3.24	39.2	45.1	15.7	0.0	3.31	38.2	54.5	7.3	0.0	3.30	41.0	49.2	8.2	1.6
教員の資質向上	教員研修	教員研修体制	24	2.90	27.5	37.3	33.3	2.0	2.67	17.6	39.2	35.3	7.8	2.69	16.4	43.6	32.7	7.3	2.90	27.9	37.7	31.1	3.3
		教員相互の援助体制	25	2.71	17.6	41.2	35.3	5.9	2.61	11.8	49.0	27.5	11.8	2.73	16.4	49.1	25.5	9.1	2.92	27.9	41.0	26.2	4.9
その他	ICT教育	ICT教育の推進	26																3.11	45.9	29.5	14.8	9.8
				3.11					3.07					3.16					3.21				

注：　A～Dの数字は全体に占める割合（%）　「評価」は評価基

評価基準について　A（4）：そう思う　B（3）：どちらかといえばそう思う　C（2）：どちらかといえばそう思わない　D（1）：そう思わない

2021年度　学校評価 自己点検・評価項目　　保護者対象アンケート　　―高中別―　　【資料2①】

			高等学校					中学校				
		設　　問（保護者対象）　20項目	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D
1	学園生活	ご子女は、生き生きとした学校生活を送っていると思われますか。	3.39	51.2	38.2	8.6	2.0	3.39	51.6	37.9	8.4	2.1
2		保護者として、この学校に入学させて良かったと思われますか。	3.37	51.8	36.3	9.4	2.5	3.37	50.7	37.3	10.1	1.8
3	教育方針・教育目標	本校の教育方針・教育目標を理解されていますか。	3.09	28.4	55.3	13.4	2.9	3.27	37.6	51.6	10.4	0.3
4	HPの活用	本校のホームページは、教育活動を知るために有効だと思われますか。	3.04	30.1	47.9	18.5	3.6	3.17	39.1	41.8	16.1	3.0
5	初動対応	事故やトラブルなどに対し、学校は迅速かつ的確な対応が行われていると思われますか。	3.03	29.3	49.6	17.0	4.2	3.32	44.3	45.5	8.1	2.1
6	避難訓練や安全対策	避難訓練や安全対策など積極的な対策を講じていると思われますか。	3.08	27.3	55.5	15.0	2.2	3.25	38.5	49.6	10.1	1.8
7	学力向上における組織的な取組	本校は学力向上のために組織的な取組を行っていると思われますか。	2.98	27.6	48.2	19.5	4.7	3.28	44.5	41.5	11.6	2.4
8	スローラーナーへの対応	習熟度の遅れた生徒へのフォローや補習授業の取組が十分に行われていると思われますか。	2.86	22.1	48.8	22.5	6.6	3.11	35.2	44.5	16.4	3.9
9	保護者との連携	学校からの連絡や懇談は緊密に行われていると思われますか。	3.14	35.3	47.1	14.4	3.3	3.30	45.7	40.6	12.2	1.5
10	社会規範の理解とモラルの醸成	学校や社会のルールを遵守させ、生徒としてのマナーやモラルを向上させる取組が行われていると思われますか。	3.22	35.4	53.1	9.6	1.9	3.37	45.7	47.5	5.1	1.8
11	いじめへの対応	いじめを許さない学校・学級作りに積極的に取り組んでいると思われますか。	3.14	30.6	54.5	13.4	1.5	3.22	36.4	50.7	11.3	1.5
12	健康な身体づくり	基本的生活習慣や健康な身体づくり、基礎体力づくりの指導が行われていると思われますか。	3.28	39.4	49.8	10.0	0.9	3.35	44.2	47.5	7.5	0.9
13	中高大連携事業の実践	高大あるいは中大、中高の学校同士の教育連携が積極的に行われている思われますか。	3.22	38.2	46.7	13.6	1.5	3.16	34.8	47.6	16.1	1.5
14	指導方針の一貫性	学校としての明確な方針のもとで生徒指導が行われていると思われますか。	3.15	33.2	51.6	13.0	2.2	3.28	38.8	51.3	9.0	0.9
15	家庭との連携状況	日頃から家庭への連絡など積極的に意思疎通を図っていると思われますか。	2.99	28.2	47.8	20.0	4.1	3.18	37.9	44.2	16.1	1.8
16	カウンセリング体制	子供に何らかの問題が生じたとき、担任をはじめとする教員、学校カウンセラーに相談できる体制ができていると思いますか。	3.04	26.0	54.7	17.1	2.2	3.11	31.0	51.3	15.5	2.1
17	進路指導体制	一人ひとりの進路を実現するために、きめ細かな進路指導が行われていると思われますか。	3.07	31.3	47.6	18.2	2.9	2.99	28.7	45.4	22.4	3.6
18	部活動支援状況	クラブ活動を通して生徒の心身の成長が図られるよう学校全体で支援していると思われますか。	3.23	43.7	39.3	13.6	3.3	3.19	42.2	39.2	14.7	3.9
19	学校行事指導体制	学校行事に対して生徒が積極的に活動できるよう、学校と保護者が協力して取り組んでいると思われますか。	3.09	29.5	52.8	15.3	2.4	3.16	35.8	45.1	18.5	0.6
20	教員研修体制	本校の教員は、教材研究や指導力の向上に努めようとしていると思われますか。	3.03	26.0	53.3	18.1	2.6	3.20	34.6	51.0	13.7	0.6
21	事務室の対応	本校の事務室の対応（窓口・電話）は適切であり、誠意をもって対応していると思われますか。	3.43	51.4	41.6	6.0	1.0	3.42	51.3	40.3	7.2	1.2
22	家庭への連絡体制	メール配信やホームページなどで学校の情報が家庭へ適切に伝えられている。	3.35	48.6	40.1	9.1	2.2	3.51	58.3	35.4	5.7	0.6
		評価平均　2021年度	3.15					3.25				
		2020年度	3.11					3.10				
		2019年度	3.02					2.99				
		2018年度	2.99					2.95				
		2017年度	3.03					2.84				

2021年度 学校評価 自己点検・評価項目　保護者対象アンケート(高校)　―過去4カ年比較―　【資料2-1】

					高等学校																			
					2018年度					2019年度					2020年度					2021年度				
分類	大項目	NO		小項目	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D
学校生活	満足度	○	1	学園生活	3.29	46.5	38.7	12.1	2.7	3.31	48.4	37.3	11.4	2.8	3.33	48.2	39.8	9.2	2.9	3.39	51.2	38.2	8.6	2.0
		○	2		3.23	43.1	40.2	13.7	3.0	3.23	42.9	40.3	13.5	3.3	3.30	46.3	40.2	10.4	3.1	3.37	51.8	36.3	9.4	2.5
学校運営	私学の独自性	○	3	教育方針・教育目標	3.00	23.2	56.3	17.6	2.9	2.99	24.0	54.3	17.9	3.8	3.13	29.8	56.1	12.3	1.9	3.09	28.4	55.3	13.4	2.9
	情報公開	○	4	HPの活用	2.79	20.2	48.8	22.5	8.5	2.88	24.2	46.5	22.0	7.3	3.04	28.7	50.9	16.7	3.7	3.04	30.1	47.9	18.5	3.6
	危機管理		5	初動対応	2.70	19.6	44.1	24.8	11.5	2.84	23.2	46.9	21.4	8.5	3.03	29.5	49.8	15.5	5.2	3.03	29.3	49.6	17.0	4.2
		○	6	避難訓練や安全対策	2.87	18.3	55.3	21.5	5.0	2.90	20.9	53.2	21.4	4.5	3.08	27.4	55.3	14.6	2.7	3.08	27.3	55.5	15.0	2.2
教育内容	知　育	○	7	学力向上における組織的な取組	2.83	23.0	43.8	26.8	6.4	2.81	21.7	44.5	27.2	6.6	2.95	25.4	49.6	20.1	4.8	2.98	27.6	48.2	19.5	4.7
		○	8	スローラーナーへの対応	2.62	14.3	43.1	32.9	9.7	2.63	16.1	41.4	32.9	9.6	2.78	20.2	45.8	25.9	8.1	2.86	22.1	48.8	22.5	6.6
		○	9	保護者との連携	2.96	27.6	46.4	20.7	5.3	2.98	30.5	42.7	21.6	5.2	3.06	32.6	45.2	18.0	4.2	3.14	35.3	47.1	14.4	3.3
	徳　育	○	10	社会規範の理解とモラルの醸成	3.10	30.3	52.4	14.1	3.1	3.15	33.7	50.4	13.9	2.0	3.23	35.6	53.1	9.8	1.5	3.22	35.4	53.1	9.6	1.9
		○	11	いじめへの対応	3.04	24.4	57.7	15.7	2.3	3.05	26.4	54.4	16.8	2.4	3.12	28.1	57.3	13.3	1.4	3.14	30.6	54.5	13.4	1.5
	体　育	○	12	健康な身体づくり	3.21	36.3	50.3	11.6	1.7	3.21	36.0	51.5	10.8	1.7	3.27	38.5	51.7	8.4	1.3	3.28	39.4	49.8	10.0	0.9
	学校間連携	○	13	中高大連携事業の実践	3.08	31.9	47.7	17.3	3.0	3.12	34.0	48.1	14.6	3.4	3.16	36.5	45.7	15.4	2.4	3.22	38.2	46.7	13.6	1.5
生徒指導・生徒支援	生徒指導		14	指導方針の一貫性	2.98	24.0	53.8	18.6	3.6	3.00	26.3	52.0	17.2	4.5	3.14	33.0	50.6	13.2	3.1	3.15	33.2	51.6	13.0	2.2
			15	家庭との連携状況	2.76	19.1	45.7	28.5	6.7	2.88	24.7	43.9	25.9	5.4	2.93	27.1	43.9	23.7	5.3	2.99	28.2	47.8	20.0	4.1
	カウンセリング	○	16	カウンセリング体制	2.80	17.5	50.6	26.8	5.1	2.85	21.4	48.1	25.1	5.4	2.98	25.7	50.7	19.3	4.3	3.04	26.0	54.7	17.1	2.2
	進路指導		17	進路指導体制	2.89	23.7	47.8	22.3	6.2	2.88	24.8	45.8	23.0	6.4	2.96	28.0	45.3	21.2	5.5	3.07	31.3	47.6	18.2	2.9
	生徒会活動		18	部活動支援状況	3.18	39.6	43.1	13.9	3.5	3.17	41.0	40.2	14.3	4.6	3.20	41.7	41.0	12.8	4.5	3.23	43.7	39.3	13.6	3.3
			19	学校行事指導体制	3.18	35.5	49.0	13.2	2.3	3.15	33.7	50.0	13.8	2.5	3.10	32.9	47.5	16.4	3.2	3.09	29.5	52.8	15.3	2.4
教員研修	教員の研修活動	○	20	教員研修体制	2.87	19.8	51.7	24.1	4.4	2.93	24.1	50.0	21.1	4.8	2.99	26.7	49.5	19.7	4.0	3.03	26.0	53.3	18.1	2.6
その他	窓口対応		21	事務室の対応	3.32	44.0	47.0	6.6	2.4	3.37	48.7	41.4	8.0	1.9	3.45	52.8	41.2	4.7	1.3	3.43	51.4	41.6	6.0	1.0
			22	家庭への連絡体制																3.35	48.6	40.1	9.1	2.2
					2.99					3.02					3.11					3.15				

注：○は併設校共通項目

評価基準について　A:そう思う　B:どちらかといえばそう思う　C:どちらかといえばそう思わない　D:そう思わない

2021年度 学校評価 自己点検・評価項目　保護者対象アンケート(中学校)　―過去4カ年比較―　【資料2-2】

					中学校																			
					2018年度					2019年度					2020年度					2021年度				
分類	大項目	NO		小項目	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D
学校生活	満足度	○	1	学園生活	3.17	39.0	43.0	13.7	4.3	3.26	41.7	45.5	10.3	2.6	3.31	49.1	36.2	11.9	2.8	3.39	51.6	37.9	8.4	2.1
		○	2		3.04	32.5	45.7	15.3	6.4	3.08	32.7	46.2	17.6	3.5	3.29	42.8	45.3	9.7	2.2	3.37	50.7	37.3	10.1	1.8
学校運営	私学の独自性	○	3	教育方針・教育目標	3.08	25.7	59.6	11.9	2.8	3.03	25.0	55.4	17.0	2.6	3.16	32.1	53.5	12.6	1.9	3.27	37.6	51.6	10.4	0.3
	情報公開	○	4	HPの活用	2.93	26.5	45.1	22.6	5.8	3.04	29.9	49.2	17.0	3.9	3.04	32.3	45.5	17.2	5.0	3.17	39.1	41.8	16.1	3.0
	危機管理		5	初動対応	2.73	22.4	42.6	21.8	13.2	2.93	24.4	49.7	20.5	5.4	3.12	32.5	50.0	14.4	3.1	3.32	44.3	45.5	8.1	2.1
		○	6	避難訓練や安全対策	2.94	23.1	53.4	17.3	6.2	3.05	26.7	56.3	13.8	3.2	3.20	36.4	49.2	12.2	2.2	3.25	38.5	49.6	10.1	1.8
教育内容	知　育	○	7	学力向上における組織的な取組	2.87	23.1	46.5	23.4	7.0	2.78	16.1	54.0	22.2	7.7	3.03	29.5	48.9	17.2	4.4	3.28	44.5	41.5	11.6	2.4
		○	8	スローラーナーへの対応	2.72	17.4	44.3	30.3	8.0	2.64	15.8	42.8	32.2	9.3	2.89	24.4	48.8	18.8	8.1	3.11	35.2	44.5	16.4	3.9
		○	9	保護者との連携	2.98	26.0	50.8	18.7	4.6	3.06	29.2	51.3	16.3	3.2	3.18	39.2	44.2	13.5	3.1	3.30	45.7	40.6	12.2	1.5
	徳　育	○	10	社会規範の理解とモラルの醸成	2.93	24.1	52.4	16.8	6.7	3.05	26.0	55.4	16.3	2.2	3.12	32.0	51.1	14.1	2.8	3.37	45.7	47.5	5.1	1.8
		○	11	いじめへの対応	2.88	21.3	53.0	18.3	7.3	2.91	19.6	54.5	23.7	2.2	3.03	26.3	53.1	17.8	2.8	3.22	36.4	50.7	11.3	1.5
	体　育	○	12	健康な身体づくり	3.16	32.8	53.1	11.0	3.1	3.13	28.9	57.9	10.9	2.3	3.18	32.5	53.8	12.5	1.3	3.35	44.2	47.5	7.5	0.9
	学校間連携	○	13	中高大連携事業の実践	3.09	32.1	48.8	16.0	3.1	3.02	25.4	54.7	17.7	2.3	3.03	27.5	50.9	18.1	3.4	3.16	34.8	47.6	16.1	1.5
生徒指導・生徒支援	生徒指導		14	指導方針の一貫性	2.91	22.3	52.7	18.3	6.7	2.88	19.9	53.5	21.8	4.8	3.06	29.8	49.8	17.2	3.1	3.28	38.8	51.3	9.0	0.9
			15	家庭との連携状況	2.91	24.8	46.5	24.2	4.6	2.90	21.5	51.3	23.4	3.8	3.01	30.3	43.4	22.8	3.4	3.18	37.9	44.2	16.1	1.8
	カウンセリング	○	16	カウンセリング体制	2.82	19.8	50.0	23.5	6.7	2.85	19.3	50.8	26.7	3.2	3.02	29.8	44.8	22.9	2.5	3.11	31.0	51.3	15.5	2.1
	進路指導		17	進路指導体制	2.69	14.7	48.3	29.1	8.0	2.73	15.2	50.6	28.4	5.8	2.88	22.6	48.0	24.8	4.7	2.99	28.7	45.4	22.4	3.6
	生徒会活動		18	部活動支援状況	2.82	22.0	46.8	22.6	8.6	2.94	25.4	50.2	18.3	6.1	3.10	36.7	42.0	16.0	5.3	3.19	42.2	39.2	14.7	3.9
			19	学校行事指導体制	3.10	30.8	50.3	15.9	3.0	3.18	32.1	54.5	12.5	1.0	3.07	29.0	50.8	18.0	2.2	3.16	35.8	45.1	18.5	0.6
教員研修	教員の研修活動	○	20	教員研修体制	2.89	22.8	49.2	22.5	5.5	2.88	19.9	54.3	19.9	5.8	3.03	28.4	50.8	18.0	2.8	3.20	34.6	51.0	13.7	0.6
その他	窓口対応		21	事務室の対応	3.34	46.9	44.4	6.2	2.5	3.35	44.9	46.2	7.7	1.3	3.38	47.6	45.0	6.4	1.0	3.42	51.3	40.3	7.2	1.2
			22	家庭への連絡体制																3.51	58.3	35.4	5.7	0.6
					2.95					2.99					3.10					3.25				

注：○は併設校共通項目

評価基準について　A:そう思う　B:どちらかといえばそう思う　C:どちらかといえばそう思わない　D:そう思わない

2021年度　学校評価　自己点検・評価項目　生徒対象アンケート　―高中別―　【資料2②】

			高等学校全体					中学校全体				
	小項目	設　　問（生徒対象）　20項目	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D
1	学園生活	学校生活は楽しいと感じていますか。	3.44	56.2	33.7	7.7	2.5	3.45	54.7	37.4	6.5	1.5
2		この学校に入学して良かったと思いますか。	3.20	41.5	41.3	13.1	4.2	3.37	49.7	39.4	9.1	1.8
3	教育方針・教育目標	本校の教育方針を理解していますか。	2.94	29.5	43.1	19.5	7.9	3.02	31.5	45.3	16.8	6.5
4	HPの活用	本校のホームページは、学校行事などの必要な情報がタイムリーに更新されていますか。	2.99	33.1	40.2	19.4	7.2	3.22	41.2	44.1	10.3	4.4
5	初動対応	事故やトラブルなどに対し、学校は迅速かつ的確な対応が行われていると思いますか。	3.05	35.5	41.4	16.1	7.0	3.28	43.8	43.8	8.8	3.5
6	避難訓練や安全対策	事故、事件、災害が発生したとき、どのように行動すれば良いのか、指示を受けていますか。	3.30	46.0	40.6	10.8	2.6	3.51	58.7	34.8	5.3	1.2
7	学力向上における組織的な取組	授業を通じ、自分の学力は向上していると感じていますか。	3.16	36.5	46.5	13.2	3.7	3.31	44.7	44.4	7.9	2.9
8	スローラーナーへの対応	成績が低迷した場合、補習授業で適切なフォローをしてもらえる仕組みがあると感じていますか。	3.06	34.9	42.0	17.2	5.8	3.39	52.9	35.9	8.2	2.9
9	保護者との連携	自分の学習状況を保護者も把握していると思いますか。	3.22	42.6	40.4	13.0	4.0	3.42	53.4	36.3	8.8	1.5
10	社会規範の理解とモラルの醸成	生徒としてのマナーやモラル向上のための指導によって、規範意識が昨年より高まったと思いますか。	3.25	43.2	41.9	11.3	3.6	3.33	46.2	43.2	7.9	2.6
11	いじめへの対応	いじめを許さない指導が日常的に行われていると思いますか。	3.20	42.4	39.7	13.1	4.7	3.30	47.1	38.8	10.9	3.2
12	健康な身体づくり	基本的生活習慣や健康な身体づくり、基礎体力づくりの仕方を学びましたか。	3.34	48.0	40.6	8.5	2.9	3.46	55.6	35.9	7.4	1.2
13	中高大連携事業の実践	高大あるいは中大、中高の学校同士の教育連携があると思いますか。	3.30	48.3	37.5	10.4	3.7	3.39	53.2	34.1	11.2	1.5
14	指導方針の一貫性	守るべき学校のルールやマナーについて、よくわかるように説明と指導を受けていますか。	3.29	47.5	37.9	10.3	4.2	3.38	51.5	37.9	7.6	2.9
15	家庭との連携状況	日頃から家庭への連絡など積極的に意思疎通を図っていると思いますか。	3.19	40.0	42.6	13.8	3.7	3.33	46.8	42.1	8.2	2.9
16	カウンセリング体制	悩みが生じたときに、担任をはじめとする教員、学校カウンセラーに相談できる体制ができていると思いますか。	3.13	38.2	41.5	15.5	4.8	3.18	40.9	41.8	12.1	5.3
17	進路指導体制	生徒一人ひとりの進路を実現させるために、きめ細かな進路指導を行っていると思いますか。	3.27	43.2	43.5	10.0	3.3	3.21	43.2	39.1	13.5	4.1
18	部活動支援状況	クラブ活動を通して生徒の成長が図られるよう学校全体で支援していると思いますか。	3.36	49.8	39.1	8.1	3.0	3.40	55.0	34.4	6.5	4.1
19	学校行事指導体制	学園祭などの学校行事に対して、生徒が積極的に活動できるように配慮していると感じますか。	3.33	48.3	39.6	8.8	3.4	3.45	54.9	36.9	6.5	1.8
20	校内外における教員研修	工夫された授業やおもしろい実験などが取り入れられていると思いますか。	3.07	35.2	42.3	17.7	4.8	3.37	51.2	37.1	9.1	2.6
21	学習環境	本校の施設・設備において、学習、生活、クラブなどの環境は整っていると思いますか。	3.48	58.7	32.8	6.4	2.0	3.56	67.1	24.7	5.0	3.2
		評価平均 2021年度	3.22					3.35				
		2020年度	3.14					3.25				
		2019年度	3.02					3.13				
		2018年度	2.99					3.02				
		2017年度	3.00					2.88				

2020年度 学校評価（生徒対象）アンケート（高校） ―3ヵ年の推移―

【資料2-3】

分類	大項目		NO	小項目	2019年度 評価	A	B	C	D	学年別評価 1年	2年	3年	2020年度 評価	A	B	C	D	学年別評価 1年	2年	3年	2021年度 評価	A	B	C	D	学年別評価 1年	2年	3年
学校生活	満足度	○	1	学園生活	3.32	50.5	35.2	10.5	3.8	3.25	3.33	3.39	3.36	52.5	34.6	9.6	3.3	3.26	3.33	3.49	3.44	56.2	33.7	7.7	2.5	3.46	3.40	3.44
		○	2		2.95	30.8	41.8	19.4	7.9	2.83	2.94	3.08	3.13	39.5	39.4	15.9	5.1	3.02	3.05	3.31	3.20	41.5	41.3	13.1	4.2	3.23	3.10	3.27
学校運営	私学の独自性	○	3	教育方針・教育目標	2.73	21.3	41.2	26.9	10.6	2.62	2.81	2.74	2.84	25.0	42.5	23.5	9.0	2.67	2.75	3.06	2.94	29.5	43.1	19.5	7.9	3.00	2.92	2.90
	情報公開	○	4	HPの活用	2.68	23.4	35.9	26.7	14.0	2.87	2.51	2.69	2.87	28.9	40.0	20.8	10.3	2.92	2.78	2.92	2.99	33.1	40.2	19.4	7.2	3.13	2.98	2.86
	危機管理		5	初動対応	2.58	21.9	33.8	25.8	18.5	2.70	2.49	2.58	2.86	29.2	38.8	20.6	11.4	2.96	2.72	2.89	3.05	35.5	41.4	16.1	7.0	3.15	3.07	2.93
		○	6	避難訓練や安全対策	3.06	34.9	42.3	17.1	5.7	3.05	3.05	3.09	3.21	42.0	40.6	13.7	3.7	3.17	3.16	3.28	3.30	46.0	40.6	10.8	2.6	3.29	3.33	3.29
教育内容	知　育	○	7	学力向上における組織的な取組	2.87	23.7	47.5	21.3	7.6	2.73	2.93	2.94	3.06	32.7	45.1	17.5	4.7	2.86	3.01	3.28	3.16	36.5	46.5	13.2	3.7	3.22	3.09	3.17
		○	8	スローラーナーへの対応	2.81	25.1	40.5	24.9	9.5	2.68	2.82	2.93	3.02	32.4	42.9	19.0	5.7	2.84	2.89	3.30	3.06	34.9	42.0	17.2	5.8	3.11	3.05	3.01
		○	9	保護者との連携	3.12	39.3	38.8	16.7	5.1	3.16	3.13	3.09	3.19	41.7	39.7	14.1	4.5	3.08	3.24	3.24	3.22	42.6	40.4	13.0	4.0	3.19	3.24	3.22
	徳　育	○	10	社会規範の理解とモラルの醸成	3.06	31.9	46.8	16.6	4.7	3.02	3.10	3.05	3.14	36.3	45.7	14.2	3.9	3.04	3.07	3.30	3.25	43.2	41.9	11.3	3.6	3.33	3.23	3.18
		○	11	いじめへの対応	3.00	33.4	40.3	19.2	7.1	2.86	3.05	3.08	3.05	35.2	41.2	17.7	6.0	2.92	2.95	3.27	3.20	42.4	39.7	13.1	4.7	3.24	3.22	3.14
	体　育	○	12	健康な身体づくり	3.25	42.3	42.9	12.5	2.3	3.21	3.21	3.34	3.34	48.4	39.8	9.5	2.2	3.32	3.26	3.44	3.34	48.0	40.6	8.5	2.9	3.36	3.31	3.33
	学校間連携	○	13	中高大連携事業の実践	3.18	41.0	40.7	13.3	5.0	3.27	3.15	3.11	3.25	46.0	37.1	12.7	4.2	3.12	3.21	3.40	3.30	48.3	37.5	10.4	3.7	3.36	3.30	3.25
生徒指導・生徒支援	生徒指導		14	指導方針の一貫性	3.08	34.8	43.6	16.7	5.0	2.98	3.15	3.09	3.18	41.1	40.8	12.9	5.2	3.10	3.06	3.35	3.29	47.5	37.9	10.3	4.2	3.32	3.29	3.26
			15	家庭との連携状況	2.97	30.2	43.7	19.5	6.5	2.94	3.03	2.94	3.09	37.0	40.5	17.3	5.2	2.94	3.05	3.27	3.19	40.0	42.6	13.8	3.7	3.25	3.13	3.18
	カウンセリング	○	16	カウンセリング体制	2.93	28.7	42.9	21.6	6.8	2.86	2.95	2.98	3.08	36.0	41.3	17.6	5.1	2.86	3.05	3.31	3.13	38.2	41.5	15.5	4.8	3.08	3.11	3.19
	進路指導		17	進路指導体制	3.03	33.3	43.1	17.7	6.0	2.95	3.06	3.09	3.21	43.0	38.9	13.9	4.2	3.06	3.14	3.40	3.27	43.2	43.5	10.0	3.3	3.29	3.26	3.25
	生徒会活動		18	部活動支援状況	3.22	44.1	39.0	12.2	4.6	3.18	3.18	3.32	3.30	49.1	36.4	10.1	4.4	3.21	3.21	3.48	3.36	49.8	39.1	8.1	3.0	3.36	3.31	3.40
			19	学校行事指導体制	3.27	45.8	38.9	11.9	3.4	3.22	3.29	3.29	3.31	47.9	38.2	10.9	3.1	3.21	3.22	3.48	3.33	48.3	39.6	8.8	3.4	3.31	3.39	3.28
教員研修	教員の研修活動	○	20	教員研修体制	2.82	25.6	41.0	23.4	10.1	2.64	2.91	2.89	2.96	32.2	39.6	20.2	8.0	2.71	2.88	3.26	3.07	35.2	42.3	17.7	4.8	3.06	3.11	3.06
その他	校内環境		21	学習環境	3.42	55.6	33.8	7.6	2.9	3.42	3.40	3.45	3.44	56.9	32.9	7.1	3.0	3.33	3.37	3.59	3.48	58.7	32.8	6.4	2.0	3.46	3.48	3.52

注：○は併設校共通項目

評価基準について　A(4):そう思う　B(3):どちらかといえばそう思う　C(2):どちらかといえばそう思わない　D(1):そう思わない

2020年度　学校評価（生徒対象）アンケート　（中学校）　―3ヵ年の推移―

【資料2-4】

分類	大項目		NO	小項目	2019年度(全学年) 評価	A	B	C	D	学年別評価 1年	2年	3年	2020年度(全学年) 評価	A	B	C	D	学年別評価 1年	2年	3年	2021年度(全学年) 評価	A	B	C	D	学年別評価 1年	2年	3年
学校生活	満足度	○	1	学園生活	3.37	52.1	36.0	8.3	3.6	3.54	3.34	3.18	3.42	56.3	33.5	6.5	3.7	3.64	3.34	3.30	3.45	54.7	37.4	6.5	1.5	3.42	3.44	3.50
		○	2		3.19	41.8	39.4	15.5	3.3	3.40	3.09	2.59	3.27	43.6	43.3	9.5	3.7	3.61	3.11	3.08	3.37	49.7	39.4	9.1	1.8	3.42	3.33	3.35
学校運営	私学の独自性	○	3	教育方針・教育目標	2.83	23.8	44.0	23.5	8.6	3.05	2.88	2.70	2.98	26.4	50.9	16.6	6.1	3.08	2.99	2.85	3.02	31.5	45.3	16.8	6.5	3.00	2.95	3.10
	情報公開	○	4	HPの活用	2.99	35.7	36.6	18.2	9.5	3.19	2.89	2.77	3.11	38.8	39.1	16.5	5.5	3.33	3.15	2.86	3.22	41.2	44.1	10.3	4.4	3.24	3.15	3.28
	危機管理		5	初動対応	2.91	31.5	37.8	20.5	10.1	3.19	2.83	2.70	3.15	41.6	37.0	16.5	4.9	3.49	3.15	2.83	3.28	43.8	43.8	8.8	3.5	3.38	3.24	3.21
		○	6	避難訓練や安全対策	3.29	47.0	37.5	12.8	2.7	3.36	3.23	3.11	3.39	50.3	40.2	7.6	1.8	3.66	3.33	3.18	3.51	58.7	34.8	5.3	1.2	3.48	3.53	3.52
教育内容	知　育	○	7	学力向上における組織的な取組	3.14	36.6	44.6	15.2	3.6	3.23	3.08	2.71	3.22	41.0	43.8	11.6	3.6	3.30	3.25	3.11	3.31	44.7	44.4	7.9	2.9	3.35	3.30	3.27
		○	8	スローラーナーへの対応	3.20	42.3	40.2	12.5	5.1	3.30	3.17	2.89	3.33	49.7	36.0	11.9	2.4	3.55	3.39	3.05	3.39	52.9	35.9	8.2	2.9	3.26	3.43	3.49
		○	9	保護者との連携	3.27	47.0	37.5	10.7	4.8	3.51	3.14	3.07	3.31	47.0	39.3	11.3	2.4	3.51	3.32	3.09	3.42	53.4	36.3	8.8	1.5	3.35	3.41	3.50
	徳　育	○	10	社会規範の理解とモラルの醸成	3.10	33.9	47.0	14.0	5.1	3.23	2.98	2.77	3.23	44.0	38.8	13.5	3.7	3.50	3.24	2.95	3.33	46.2	43.2	7.9	2.6	3.39	3.28	3.31
		○	11	いじめへの対応	2.89	31.3	37.5	20.2	11.0	3.02	2.81	2.39	3.03	37.8	35.1	19.5	7.6	3.34	2.98	2.77	3.30	47.1	38.8	10.9	3.2	3.47	3.17	3.23
	体　育	○	12	健康な身体づくり	3.28	45.2	39.6	12.8	2.4	3.46	3.18	3.15	3.39	50.5	39.4	8.3	1.8	3.59	3.40	3.17	3.46	55.6	35.9	7.4	1.2	3.45	3.49	3.45
	学校間連携	○	13	中高大連携事業の実践	3.34	50.3	36.6	9.5	3.6	3.42	3.42	3.15	3.30	49.2	35.9	10.6	4.3	3.37	3.50	3.04	3.39	53.2	34.1	11.2	1.5	3.33	3.45	3.43
生徒指導・生徒支援	生徒指導		14	指導方針の一貫性	3.16	38.1	44.9	12.2	4.8	3.30	3.19	2.97	3.28	48.9	35.5	10.7	4.9	3.64	3.21	3.01	3.38	51.5	37.9	7.6	2.9	3.50	3.31	3.31
			15	家庭との連携状況	3.06	33.6	42.6	19.6	4.2	3.27	3.01	2.90	3.20	39.0	45.1	12.8	3.0	3.41	3.17	3.02	3.33	46.8	42.1	8.2	2.9	3.31	3.33	3.34
	カウンセリング	○	16	カウンセリング体制	2.82	26.2	40.8	22.3	10.7	2.91	2.71	2.83	3.09	38.4	38.1	17.1	6.4	3.38	3.05	2.83	3.18	40.9	41.8	12.1	5.3	3.13	3.29	3.15
	進路指導		17	進路指導体制	3.02	32.7	41.4	20.8	5.1	3.01	2.94	2.75	3.16	38.3	43.8	13.4	4.6	3.39	3.15	2.94	3.21	43.2	39.1	13.5	4.1	3.20	3.25	3.19
	生徒会活動		18	部活動支援状況	3.16	42.6	37.2	13.7	6.5	3.28	2.96	2.84	3.29	49.8	32.8	13.4	4.0	3.47	3.32	3.06	3.40	55.0	34.4	6.5	4.1	3.50	3.32	3.36
			19	学校行事指導体制	3.36	51.5	36.0	9.8	2.7	3.50	3.30	3.11	3.36	50.0	37.8	10.7	1.5	3.66	3.29	3.14	3.45	54.9	36.9	6.5	1.8	3.44	3.39	3.51
教員研修	教員の研修活動	○	20	教員研修体制	3.06	35.4	43.8	11.9	8.9	3.03	3.16	2.92	3.25	48.0	33.6	13.8	4.6	3.58	3.23	2.94	3.37	51.2	37.1	9.1	2.6	3.42	3.39	3.31
その他	校内環境		21	学習環境	3.39	56.0	31.3	8.4	4.2	3.47	3.32	3.35	3.45	58.0	31.0	8.8	2.2	3.71	3.34	3.30	3.56	67.1	24.7	5.0	3.2	3.62	3.49	3.54

注：○は併設校共通項目

評価基準について　　4:そう思う　3:どちらかといえばそう思う　2:どちらかといえばそう思わない　1:そう思わない

2021年度　授業評価分析資料（教科別）

2021年11月実施　　関西大学北陽高等学校・中学校　　【資料3-1】

	国語					社会					数学					理科					英語				
設問＼評価	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D
自己評価	3.35→3.34→3.50→3.47→3.52					3.44→3.45→3.51→3.64→3.56					3.36→3.39→3.46→3,48→3.51					3.39→3.57→3.44→3.57→3.58					3.30→3.36→3.45→3.53→3.49				
1	3.70	74.6%	21.8%	3.0%	0.6%	3.71	74.0%	23.3%	2.4%	0.3%	3.66	71.3%	24.6%	3.5%	0.7%	3.74	77.5%	19.5%	2.6%	0.4%	3.65	68.9%	27.6%	3.2%	0.2%
2	3.64	69.6%	25.3%	4.5%	0.6%	3.74	78.0%	18.8%	2.7%	0.5%	3.57	65.4%	27.9%	5.1%	1.7%	3.61	68.2%	25.6%	5.1%	1.1%	3.56	63.0%	31.0%	4.9%	1.1%
3	3.22	48.5%	29.8%	16.9%	4.8%	3.24	51.4%	27.0%	15.3%	6.3%	3.29	49.9%	31.9%	14.9%	3.2%	3.40	59.3%	25.4%	11.4%	3.9%	3.25	47.3%	33.4%	16.1%	3.3%
授業評価	3.49→3.45→3.61→3.57→3.69					3.50→3.59→3.65→3.75→3.71					3.48→3.46→3.62→3.64→3.66					3.60→3.74→3.62→3.61→3.71					3.37→3.49→3.63→3.67→3.69				
4	3.70	77.0%	16.6%	5.4%	1.0%	3.74	79.6%	16.3%	2.6%	1.5%	3.69	77.4%	16.1%	4.8%	1.7%	3.65	75.9%	15.9%	5.2%	3.0%	3.79	82.9%	13.8%	2.7%	0.6%
5	3.75	78.2%	19.0%	2.5%	0.3%	3.78	82.1%	14.9%	2.0%	1.0%	3.73	78.1%	17.8%	3.2%	0.8%	3.80	83.1%	14.5%	1.9%	0.4%	3.75	78.0%	19.1%	2.4%	0.5%
6	3.68	73.9%	21.1%	4.0%	1.0%	3.71	76.5%	19.3%	3.4%	0.8%	3.61	69.8%	23.4%	5.0%	1.8%	3.71	75.4%	20.9%	2.4%	1.3%	3.66	72.4%	22.0%	4.6%	1.0%
7	3.63	71.9%	20.8%	5.4%	2.0%	3.72	78.5%	16.8%	3.1%	1.7%	3.62	73.9%	17.5%	5.3%	3.3%	3.69	74.1%	21.6%	3.4%	0.9%	3.67	75.3%	18.1%	4.6%	1.9%
8	3.73	76.8%	20.2%	2.0%	1.0%	3.73	77.1%	19.2%	2.9%	0.8%	3.74	78.8%	17.3%	3.0%	1.0%	3.73	77.6%	18.8%	2.8%	0.9%	3.76	79.3%	17.4%	2.9%	1.7%
9	3.66	74.6%	18.6%	5.3%	1.5%	3.71	76.3%	19.5%	3.2%	1.0%	3.69	75.0%	20.4%	3.2%	1.4%	3.72	76.3%	19.9%	3.2%	0.6%	3.63	71.8%	21.5%	5.0%	1.7%
10	3.69	74.3%	21.5%	2.9%	1.4%	3.74	77.7%	19.6%	1.4%	1.4%	3.76	79.5%	17.5%	2.0%	1.0%	3.80	83.8%	13.5%	1.9%	0.9%	3.75	79.4%	17.3%	2.7%	0.6%
11	3.70	75.7%	19.4%	4.0%	0.9%	3.70	73.4%	23.9%	2.4%	0.3%	3.76	80.4%	16.1%	2.9%	0.7%	3.74	78.2%	19.0%	1.7%	1.1%	3.76	78.9%	18.7%	2.2%	0.2%
12	3.72	75.2%	21.9%	2.4%	0.5%	3.76	80.2%	16.7%	2.2%	0.8%	3.64	70.6%	23.8%	4.4%	1.2%	3.70	76.3%	18.3%	4.3%	1.1%	3.69	74.0%	21.2%	4.2%	0.6%
13	3.74	78.6%	18.0%	2.4%	1.0%	3.71	78.0%	16.4%	3.9%	1.7%	3.65	72.3%	22.0%	4.3%	1.4%	3.74	78.8%	17.3%	2.8%	1.1%	3.72	76.7%	19.8%	2.3%	1.2%
14	3.62	69.9%	23.4%	5.5%	1.3%	3.57	67.3%	24.9%	5.3%	2.5%	3.50	63.2%	26.1%	7.9%	2.7%	3.62	68.8%	25.2%	5.0%	1.1%	3.55	64.8%	27.2%	6.1%	1.8%
15	3.67	73.3%	21.3%	4.4%	1.0%	3.65	70.7%	24.4%	4.1%	0.8%	3.61	69.7%	23.4%	5.0%	1.9%	3.70	75.2%	20.5%	3.0%	1.3%	3.63	69.7%	24.5%	4.5%	1.2%
16	3.67	72.7%	22.6%	4.0%	0.8%	3.66	71.9%	23.7%	2.9%	1.5%	3.61	69.6%	24.0%	4.1%	2.3%	3.68	74.7%	20.7%	2.6%	2.0%	3.63	68.8%	26.5%	3.7%	1.0%

	保健体育					芸術					情報					技術・家庭				
設問＼評価	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D
自己評価	3.71→3.64→3.71→3.74→3.74					3.58→3.55→3.37→3.75→###					3.77→3.80→3.84→3.92→3.72					3.60→3.68→3.74→3.66→3.58				
1	3.86	87.7%	11.4%	0.7%	0.3%	－	－	－	－	－	3.88	88.0%	12.0%	0.0%	0.0%	3.80	85.2%	11.1%	2.5%	1.2%
2	3.81	83.2%	15.4%	1.1%	0.4%	－	－	－	－	－	3.67	72.0%	22.7%	5.3%	0.0%	3.77	80.2%	17.3%	1.2%	1.2%
3	3.54	65.7%	24.1%	8.2%	2.0%	－	－	－	－	－	3.62	66.2%	29.7%	4.1%	0.0%	3.16	38.3%	45.7%	9.9%	6.2%
授業評価	3.74→3.72→3.75→3.80→3.80					3.46→3.66→3.44→3.80→###					3.70→3.80→3.89→3.94→3.77					3.68→3.72→3.73→3.62→3.61				
4	3.81	84.5%	13.2%	0.8%	1.5%	－	－	－	－	－	3.85	86.7%	12.0%	1.3%	0.0%	3.79	85.0%	10.0%	3.8%	1.3%
5	3.86	88.2%	10.2%	1.3%	0.3%	－	－	－	－	－	3.78	81.1%	17.6%	0.0%	1.4%	3.63	75.3%	14.8%	7.4%	2.5%
6	3.81	83.8%	13.5%	2.1%	0.5%	－	－	－	－	－	3.65	73.3%	18.7%	8.0%	0.0%	3.64	72.8%	21.0%	3.7%	2.5%
7	3.76	81.0%	15.4%	2.0%	1.6%	－	－	－	－	－	3.91	90.7%	9.3%	0.0%	0.0%	3.50	63.8%	26.3%	6.3%	3.8%
8	3.84	86.0%	12.6%	0.9%	0.5%	－	－	－	－	－	3.76	78.7%	18.7%	2.7%	0.0%	3.51	61.7%	29.6%	6.2%	2.5%
9	3.82	84.2%	13.7%	2.0%	0.1%	－	－	－	－	－	3.80	81.3%	17.3%	1.3%	0.0%	3.74	78.8%	17.5%	2.5%	1.3%
10	3.80	83.0%	14.9%	1.2%	0.9%	－	－	－	－	－	3.85	88.0%	9.3%	2.7%	0.0%	3.62	70.4%	22.2%	6.2%	1.2%
11	3.79	82.4%	14.2%	2.8%	0.5%	－	－	－	－	－	3.65	69.3%	28.0%	1.3%	1.3%	3.60	72.8%	16.0%	9.9%	1.2%
12	3.83	85.2%	12.9%	1.6%	0.3%	－	－	－	－	－	3.69	73.3%	22.7%	4.0%	0.0%	3.75	80.2%	14.8%	4.9%	0.0%
13	3.74	78.6%	17.8%	2.8%	0.8%	－	－	－	－	－	3.76	80.0%	16.0%	4.0%	0.0%	3.52	65.4%	23.5%	8.6%	2.5%
14	3.77	80.8%	16.2%	2.3%	0.7%	－	－	－	－	－	3.76	77.3%	21.3%	1.3%	0.0%	3.58	70.4%	19.8%	7.4%	2.5%
15	3.80	83.8%	13.3%	2.1%	0.8%	－	－	－	－	－	3.79	80.0%	18.7%	1.3%	0.0%	3.53	66.7%	21.0%	11.1%	1.2%
16	3.76	79.9%	16.9%	2.0%	1.1%	－	－	－	－	－	3.79	80.0%	18.7%	1.3%	0.0%	3.55	65.0%	27.5%	5.0%	2.5%

※自己評価と授業評価
　黄色の帯のところは、過去5年間の推移
2017年→2018年→2019年→2020年→2021年

※A～Dの数値は構成比
　単位は%

※芸術科の音楽担当教諭が育休のため
　″####″または″－″となっています。

2021年度　授業評価分析資料（高校＆中学校別）

2021年11月実施　　関西大学北陽高等学校・中学校　　【資料3-2】

		高等学校					中学校				
No.	設　問　△は実習科目における設問	評価	A(4)	B(3)	C(2)	D(1)	評価	A(4)	B(3)	C(2)	D(1)
	生徒自身の自己評価	自己評価平均値:3.60（昨年　3.43）					自己評価平均値:　3.48（昨年　3.12）				
1	あなたはこの授業にまじめに出席し、意欲的に取り組みましたか。	3.75	77.6%	20.0%	2.0%	0.4%	3.65	70.5%	24.7%	4.2%	0.6%
2	あなたはこの授業で出された宿題や課題を自分の力でこなすことができましたか。	3.67	72.3%	23.3%	3.7%	0.7%	3.60	67.6%	26.5%	4.5%	1.4%
3	あなたはこの授業でわからない点があっても、先生に質問するなどしてわかる努力をしましたか。	3.36	54.9%	29.2%	12.7%	3.1%	3.20	47.8%	29.7%	16.8%	5.7%
	教員に対する授業評価	授業評価平均値:3.72（昨年　3.55）					授業評価平均値:3.68（昨年　3.45）				
4	担当の先生は、授業の開始の時刻と終了の時刻を守っていましたか。	3.74	80.2%	15.1%	3.3%	1.5%	3.73	79.5%	15.2%	4.1%	1.2%
5	担当の先生は、授業のねらいをはっきりと示し、テーマに沿って授業を展開していましたか。	3.77	80.3%	16.8%	2.5%	0.4%	3.78	82.5%	14.5%	1.9%	1.1%
6	担当の先生の説明は、ていねいでわかりやすかったですか。	3.70	75.4%	19.9%	3.6%	1.1%	3.68	73.9%	20.8%	4.3%	1.0%
7	担当の先生は、生徒に対して公平に接していましたか。	3.71	76.9%	18.4%	3.3%	1.4%	3.58	72.4%	17.7%	6.1%	3.8%
8	担当の先生は、熱意をもって授業にのぞんでいるように感じましたか。	3.76	79.1%	18.1%	2.3%	0.5%	3.73	79.0%	16.6%	2.9%	1.5%
9	板書の文字や図は、授業の要点をうまくまとめ、みやすかったですか。	3.68	74.6%	20.0%	4.2%	1.2%	3.68	74.6%	20.2%	3.7%	1.6%
	△担当の先生は、危機管理に気を配り、生徒一人ひとりの安全に対して配慮していましたか。	3.82	83.9%	14.4%	1.6%	0.1%	3.77	82.1%	13.8%	3.6%	0.5%
10	担当の先生は、授業中の質問に対して適切に応えていましたか。	3.76	79.4%	17.8%	2.0%	0.8%	3.73	79.0%	16.7%	2.7%	1.6%
11	担当の先生は、生徒が個別に質問や相談に行っても、適切に応対してくれましたか。	3.75	78.1%	18.9%	2.5%	0.5%	3.70	75.8%	19.8%	3.3%	1.1%
	△担当の先生は、自ら模範演技を見せたり、生徒の優れた作品などを見せていましたか。	3.77	80.7%	15.7%	3.0%	0.6%	3.73	79.5%	14.9%	4.6%	1.0%
12	担当の先生は、私語をする生徒には注意をし、寝ている生徒は起こすなど、毅然と接していましたか。	3.70	74.5%	21.3%	3.6%	0.5%	3.70	75.7%	19.6%	3.3%	1.4%
	△担当の先生は、集中しない生徒、勝手な行動をする生徒などに対して毅然と指導していましたか。	3.81	82.8%	15.3%	1.7%	0.3%	3.83	87.2%	8.7%	3.6%	0.5%
13	担当の先生は、生徒に質問や発言を促し、参加・対話型の授業になっていましたか。	3.71	76.6%	19.1%	3.2%	1.1%	3.70	76.6%	18.7%	2.9%	1.8%
	△担当の先生は、一人ひとりの理解に応じて個別に対応するような指導をしていましたか。	3.74	78.2%	18.4%	2.8%	0.6%	3.65	74.9%	17.4%	5.6%	2.1%
14	授業のスピードや難易度については適度に感じましたか。	3.56	66.4%	25.5%	6.2%	1.9%	3.57	66.9%	25.3%	5.7%	2.0%
	△担当の先生は、グランドの整備、教室の美化などについて気を配っていましたか。	3.76	79.3%	17.5%	2.7%	0.4%	3.74	80.5%	14.9%	2.6%	2.1%
15	あなたはこの授業でその科目の知識や考え方を培い、学力向上の役に立ったと感じますか。	3.65	71.5%	23.2%	4.3%	1.0%	3.63	71.3%	22.2%	4.5%	2.0%
	△あなたはこの授業に出て、その科目の技術の習得向上に役に立ったと感じますか。	3.78	82.0%	14.7%	2.8%	0.4%	3.74	81.5%	13.3%	3.1%	2.1%
16	総合的に判断して、この担当の先生の授業に対する満足度はどのくらいですか。	3.67	72.7%	23.1%	3.1%	1.1%	3.64	72.6%	21.3%	3.8%	2.3%